京城日報

五月一日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價 ▲一部金五錢 ▲一ヶ月金一圓五十錢 ▲三ヶ月金四圓二十五錢 ▲六ヶ月前金 郵券代用は二割增
廣告料金 ▲五號十五字詰一行八十錢 ▲三號十二字詰一行一圓六十錢 ▲四號十六字詰一行一圓四十錢 ▲六號廿字詰一行八十錢
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 編輯二二四番 營業一二二番 振替貯金口座京城三〇〇番

◎英軍敵攻撃々退
敵軍爆發彈瓦斯彈砲撃

廿九日朝發表ヘーグ元帥公報＝廿八日ロークル附近に於ける敵の攻撃は我小銃及び機關銃火の爲め撃退されたり

廿九日朝敵は更にメテレよりヴオルメジールに至る全戰線に對し諸力爆發彈及び瓦斯彈を以て猛烈なる砲撃を開始し目下砲兵攻撃進展しつゝあり（倫敦電報）

◎敵軍北方海岸攻撃

今や獨軍はジヴアンシーよりアラスに至る英軍を席捲せんとする目的を遂する能はざりし結果全力を鍾して北方海岸を攻撃する事に決定したる者の如し（倫敦電報）

◎西伯利假政府宣言
外國軍隊の侵入を認容

西伯利假政府は北滿洲に宣言書を發表し聯合國間に鞏固なる關係を結ぶの要あるを切言し露國に確然たる政府の設立せらるゝ迄外國軍隊をして極東及び西伯利に入らしむるの必要を認容せり（哈爾賓電）

◎露國帝政復活疑問

久しく杜絶し居たるペトログラードよりの通信は四月二十九日に至り初めて當地に到着せるがロイテル社が接手せる四月二十三日附の報道に據れば前露國皇太子を擁立して帝政を復活せんとするストツクホルムよりの風説は未だ確實ならず尤も瑞典に於ける露國人間に於て獨逸人が多分斯かる運動を爲す可しと豫期し居たるは事實なりと（倫敦電報）

◎ペ市防備と軍事委員會

ペトログラード防備に關し陸相トロツキー主催の下に最高軍事委員會を開きペトログラード軍管區司令官シユワルツ、莫斯科軍管區司令官ヨゼレウイツチの兩將軍を始めアリツフアル提督ボンチブレウイツチ將軍等參集せりトロツキーは開會劈頭一矢だも交へずペトログラードを敵手に委す可らずと説き次でシユワルツ將軍はペトログラードの防備完備せし事を述べ同地の狀態は甚だ危險なるも未だ絶望に非ざる旨を述べたり（哈爾賓特電）

◎林公使漢口行

林公使は船津書記官其他を伴ひ三日漢口に向ひ南京上海を經て歸來の筈なり（北京特電）

◎池田男爵薨去

宮中顧問官陸軍一等軍醫正男爵池田謙齋氏は三十日薨去せり（東京特電）

『略歴』男は新潟縣平民故入澤健蔵氏の二男にして天保十二年十一月を以て生る夙に洋學を研鑽し緒方洪庵の門に遊び同氏の養嗣子となり後池田多仲氏の養嗣子となる明治維新の際病院醫師試補に舉げられ明治三年獨逸に留學を命ぜられ居る事二年にて歸朝す同十年東京帝國大學醫學部總理に任ぜられ二等侍醫を兼ね同十九年侍醫局長官に任ぜられ二十八年功を以て勳一等に敍し瑞寶章を授けらる同三十年陸軍一等軍醫正となり同三十一年功を以て特に男爵を授けられ錦鷄間祇候仰せ付られ同三十五年宮中顧問官に任ぜられ正三位に敍し從二位に陞敍さる

◎銀行業者大會

關西銀行業者大會は一日大阪ホテルに於いて開會小山謙三氏開會の辭を述べ次で諸案件を協議し午後五時より勝田藏相、水町日銀副總裁の演說あり終りて懇親會に移りたるが來會者は二府二十六縣銀行者三百餘名盛會也き（大阪特電）

佛白戰線の爭鬪
東京 一記者

去三月二十一日、獨軍西部戰に於て大攻進を開始し、爾來四旬を閲して其形勢未だ定らず、此間敵は二回まで攻撃を中止して其陣形を整へ、新たなる方面を擇びて急攻力進す、去二十三日アルベール、よりソンム、アーヴル間の英佛軍連接斷に向つて、大砲撃を開始したるは、則ち第三次攻撃を以て之を目すべし、而して之を過去の事歴に稽ふるに、敵は其全力を一處に集中して、其犧牲の過大なるを顧みずして奮闘し、其持續力は常に五日乃至七日に及ぶを例とす、此度の第三次攻撃が如何なる結果を生ずべきか、未だ之を知るを得ざれども、其攻撃は相當の日時間繼續すべく、此度も恐くは決戰を見ずして已まむか。

而して三月以來の敵の作戰法を見るに、其第一の手段は、英佛兩軍の連接點を突破して其連絡を斷つにあり、其第二の手段は、英軍を廿數塚陣地より引放して之を海岸に驅出し、野戰を以てこれと雌雄を決するにあり、第一次攻撃、第二次攻撃、共に其目的を達し得ずして已みたれども、其註文の存するところは則ち知り難からずして今回の第三次攻撃に至りて其術數の存する所益々明白となれり、然れども今日の現狀を以てすれば、敵の英佛軍を突破するといふ經濟は、遂に失敗に終らざるべからず、又英軍を野戰に誘ふといふことは今日の情形の下に於ては不可能なり、英軍は過去に於て數ば後退したれども、嘗て其防禦陣地を失へることなし、今後とても必ずしも後退すると無しと云ふ能はざれども其防禦陣地を失ふことは必無なりと斷言するを憚からざるなり。

初め敵軍攻勢を取るや、世間多くは其の限りある力を以て、大なる企てを爲すを笑ひ、一二週の後は自ら挫屈すべきことを指斥するものありたれども、敵軍は連旬攻勢を持續し、今猶ほ若干の未だ使用せざる豫備隊を保留し居ると云ふより推すときは、彼亦相當の計畫を有するや論なく、第三次攻撃にして已むときは、更に第四次の爭鬪を見ざるべからずして今日となりては敵味方共に最後の歸結を見るまで鬪ふの外あるべからず、抑も戰爭は實力を以て勝敗を決するの爭鬪なり、此度の大戰役は其關係者全世界に渉り、其戰線亦多方面なる爲めに、或方面に於ける勝敗は他の方面の消長と殆んど相影響することなく、斯くては到底勝敗を決するの機會なかるべしと懸念するものすら之有りたれども、昨年以來露國戰線羅馬尼亞の事は全く決定し、伊太利戰線亦既に休止狀態を示し居るを以て敵味方の爭鬪は遂に佛蘭西、白耳義戰線に局限せられ、此戰場に依りて勝敗を決すべき情形を醸し來れり、而して其戰線に立つところの味方としては、英吉利、佛蘭西、北米合衆國、白耳義及び伊太利諸軍ありといふと雖も、其主力を以て目すべきものは英佛二軍たり、敵は獨墺土勃四國同軍なりといふも、此戰線は獨逸軍の獨力以て擔當する所にして、結局は英佛軍對獨軍の決戰となるべく、當理數を以て云はゞ、味方の優勢を以て敵の懸軍長驅の餘を制す、其勝敗の數は甚だ明白なりと云ふと雖も、其を事實の上に證明するには猶ほ多少の時日を要す。

◎總督茶菓饗應

長谷川總督は二日午後零時半目下入京中の本鄉聯隊區在鄉將校步兵少佐西四辻公堯氏等廿七名を官邸に招待し茶菓の饗應を爲すべしと

◎府令二件發布

米穀及び大豆檢査手數料徵收規則中改正の件は二日府令を以て發布即日施行のことゝなるべきが改正の要旨は黃海道に於ても本年四月一日より米大豆以外小麥の檢査をも施行することゝなるものなり又畜產事業取締規則中改正の件は二日府令を以て發布即日施行のことゝなるべし

◎牧羊事業有望

牧羊事業の有利なるは茲に更めて說くまでもなし殊に朝鮮に於ける農家の副業としては養豚に次ぐものとして督府にては客年初めて黃海道、平安南北道、咸鏡南北道、江原道に之れが普及增殖の爲め羊の配付を爲す所ありしが漸次良好の成績を舉げつゝあり勸業模範場洗浦牧羊支場に於ては蒙古羊の增殖を試みつゝあるが從來各種の雜種を試みしに內臟寄生虫發生して不成績なりしが今春初めて純羊兒に內臟寄生虫の發生せず羊兒の成育好良にして前途大に有望なりと

◎引換へ小額紙幣
四十五萬圓一日午後到著

朝鮮銀行にて昨年十月以來補助貨の缺乏緩和の一策として朝鮮內に撒出しつゝある小額仕拂手形は既に相當の額に上りしが今回漸次其の拂出高全額を以て回收し政府發行の小額紙幣を以て之れに代らしむる事となり右に充當する小額紙幣四十五萬圓（十錢券二十五萬圓廿錢券十五萬圓五十錢券五萬圓）は一日仁川に揚陸正午同地發列車にて午後二時南大門驛著朝鮮銀行內國庫課に到著二日より各地支店其他に發送直ちに引換へに著手すべしと

▼回收速かならん　飯泉國庫課長談

鮮銀小額手形の回收に代るべき政府發行の小額紙幣四十五萬圓は一日到著二日各方面に發送直ちに回收に取りかゝる事となつた今回の回收は鮮銀本支店は勿論各農工銀行、各金融組合にも依頼し一般各金融機關で受入れた小額紙幣は再び拂出しをなさず又郵便局所の受入れに係る手形は過剩金として鮮銀へ送くらず成るべくば最寄りの支金庫に振向けて貰ふ事に話しが出來各地方共一齊に實行するのであるから存外其の回收は速やかとなるかも知れぬ又多少汚損してゐるのも素より之れを引換へるし二日から鮮銀本店では一般の請求に應じ當行の手形と小額紙幣を引換へる

◎朝鮮郵船異動

朝鮮郵船會社にては營業課長松崎時勉氏專務取締役に就任の結果營業課長に空位を生ぜしを以て其の補任並に若干の異動を行ふべく目下詮衡中なるが一兩日中に發表すべく營業課長には釜山支店長石垣孝一就任說高く元山出張所長石川八十郎氏釜山支店長轉任說あり

◎重役の改選
原田朝郵會長談

朝鮮郵船會社にては三十日の株主總會にて役員全部の改選をなせし結果專務取締役吉田秀次郎取締役大池忠助原田堀力太郎の三氏に任し新に松崎時勉氏取締役となり更に取締役會にて互選の結果松崎氏專務に就任する事となりしが右に付原田會長は曰く大池吉田堀三氏は朝鮮郵船會社の創立以來重役として會社の發展に盡瘁され功勞少なからざるが今回保護會社の重役が回漕業を兼營するは不可なりとの都合上吉田氏堀氏の回漕業は氏の名義となり居らず事實差支へなきも其の血緣者が回漕業を經營し居れるに付遠慮したしと自ら再選を辭退したり依つて氏には相談役の就任を求め一日その承諾を得たる譯なるが三氏の退任は全くその經營事業の關係より出でしものなりして新重役は三名の減に對し松崎氏一名となした事は差し向き適任者を見出し難きに付差當り據置する事となりたるなり尚ほ大池吉田堀三氏は重役を退任せしも依然會社の大株主に付今後とも會社に對し好意を以て諸種の助言を加へらるべき事と予の信じて疑はざる所也

◎專務就任感
松崎時勉氏談

朝鮮郵船會社役員改選の結果新に專務取締役に就任せし松崎時勉氏は曰く不肖の身を以て朝鮮郵船の事務となり果してよく職能を全うし得るや否や疑なきも先輩にして斯界の事情に精通されし前任者吉田氏の方針を踏襲し謹算なきを期したしと考へ居れり但し予に於ても若干現行の方針等に就き改善の意見なきにあらざれどもそれらの陳は之れを後日に讓らん何分新參者の新地位として大方の御引立を希望して止まざる次第なり

◎標識撤去と改稱
朝鮮

朝鮮沿海岸全南道榮山江落標中二個を撤去し殘餘の落標番號改稱の件は二日告示さるべし

◎電信取扱所設置

大正七年五月十一日より慶南洛東江鐵道停車場、平南萬城鐵道停車場、北東林鐵道停車場に各電信取扱所を設置の旨告示さるべし

◎七年度商議財產

大正七年度に於ける京城商業會議所の財產は合計金額七千三百六十四圓七十四錢にして右は總て事務所建築積立金に屬するものなりと

◎鮮銀券發行高

四月二十一日より同二十七日迄の朝鮮銀行券發行平均高は六千百三十四萬三千二十一圓にして內正貨準備發行平均高二千百十三萬四千百九十二圓保證準備發行平均高四千二十萬八千八百廿九圓なり週末銀行券發行高は六千二百六萬八千七百九十三圓五十錢なり

◎京城農學校始業式

道廳新設さるゝ京城公立農學校にては一日午前高陽郡崇仁面京畿道種苗場假校舍に於て始業式を舉行せり

◎琿春鮮人視察團

既報の如く間島琿春地方に居住する朝鮮人は今や其の數十九萬に達し同地方在住支那人の數に比して四倍餘を算すと雖も交通不便なるを以て朝鮮內地の事情と隔絶し自然世運の進步に隨伴すること能はざるの憾ありしが故に昨年在間島日本總領事館に於ては同地在住の鮮人中識見名望ある者六十名を選拔して視察團を組織し本國に於ける施設の實際を目擊せしめたるに團員は何れも制度文物の整頓保護撫育の周到に其夢想も及ばざりしに驚歎し且つ又各方面に於ける歡待の切なりしに感激し歸還後朝鮮內地の紹介に努め王化是より地方に洽からんとするの狀あり依て今回琿春日本領事分館に於ても同地方在住鮮人中の有力者約二十名を勸誘して鮮內地の視察團を組織し以て琿春地方の啓發に資せむとす此の行の將來同地方に稗益する所尠からざるものあるや疑ひを容れず一行は四月二十八日琿春を發し三十日雄基より乘船し一先づ淸津に上陸し同地及び羅南を視察し鏡城は歸途に立寄ることとして同日更に淸津より乘船して二日朝元山に至り同日夜京城に到著し翌日先づ總督府を訪ひ夫れより漸次主たる官衙學校銀行會社等を視察し此の間都合五日間在京城に費し永登浦、水原、仁川を視察し同月十一日歸途に就く筈なりといふ而して今回の此一行に對しては各方面より多大の同情を寄せられ朝鮮郵船會社及び朝鮮鐵道の如きは特に船賃汽車賃の大割引をなすの外種々の便宜を與へ鮮內各地に於て甚大なる歡迎を受け愉快なる觀光を續けつゝあり京城に於ても亦昨年の例に倣ひ十分歡迎の意を示さんとし目下夫々計畫中

◎將校團來期

在鄉本鄉聯隊區管下在鄉將校團西四辻公堯氏外二十六名は二日午後七時四十八分龍山驛著入京の筈なるが滯京中の日程左の如し

▲二日 午前中昌德宮、秘苑、動植物園及博物館參觀▲午後零時半總督官邸に於ける茶菓饗應、二時總督府に於て諸講話聽取、終りて後城壁に於て京城一般觀察、總督府物品陳列館、商品陳列所、工業傳習所參觀▲三日 午前九時三十分龍山發仁川に赴き同地見學、午後四時龍山著▲四日 一部は午前八時五十分龍山發水原に赴き勸業模範場見學午後九時一部は京城に歸り他の一行と合す內に一部は小泉通譯生案內の下に京城近郊を視察

◎有賀三井理事來期

三井理事有賀長文博士は昨今滿洲視察を了へて來鮮仲川金郊の兩地視察後四日午後七時二十五分南大門驛着入京し五六の兩日滯在す可しと

◎立花師團長歸任

義州、平壤諸部隊檢閲の爲め出張中なりし第十九師團長立花小一郎中將は小田山崎兩參謀、宮地副官、吉井主計、崎谷主計、石川副官等を隨へ一日午後七時二十五分龍山著列車にて歸任す

◎久保京管局長歸期

日支聯絡會議出席の爲東上中の久保滿鐵京城管理局長は來る三日東京出發途中京都二泊の上七日夜南大門著歸任すべし

◎西班牙書記官東上

西班牙公使館一等書記官ファウエル氏は三十日夜南大門發列車にて東上せり

◎忠南地主會と講演

二日永樂町研究所に於て忠南地主會開催のことは既報の通りなるが當日午後二時總督府より宇佐美內務部長出席一場の講演を試む筈

◎官廳執務時間改正

五月一日より總督府及び各所屬官廳執務時間は午前八時登廳午後四時退廳のことに改正されたり

＝大田＝

▲永沼中將 在鄉軍人會理事永沼中將は三十日午後零時二十八分著列車にて來田、同夜七時より本町一丁目大淨寺に於て軍事講話會を開きたるが當夜雨天なるに拘はらず多數の聽講者ありて非常の盛會なりし▲公認蠶業傳習所 大田公立恩賜產業傳習所は經費の都合上廢止する事となり其の後身として公認蠶業傳習所を設置したるが本年度の傳習生は十五名の豫定にして五月一日各郡廳にて其の入所試驗を執行したるが受驗者三十名ありたり而して同所の主任教師は堀江浦氏にして傳習科目は普通養蠶及び蠶種製造にして期間は六個月なり▲運動會 大田公立尋常高等小學校の春期大運動會は來る十九日午前九時より大田市外木尺里の廣場に於て開催せらるゝ由にて例年の通り數十番の運動、遊戲、競爭等ある由なれば定めて大賑ひを見るならんと

◆京都より（五）
金谷生

◆京の名物西陣織は年額三千七萬圓、從業者約三萬人、西陣一帶二千戶の家內工業にこれあり候、製品は主に內地人向きの帶地、佛の袈裟、著物等にてそれに蒙古地方向きの品も尠なからず歐洲仕向けは無地のもの多き由に御座候◆陳列館 內緞織の額は刺繡とまがふ許りのものもこれあり高島屋の店にて見たると同樣京都の都たるところを玩味仕り候◆仁和寺にては金堂に於て曼陀羅を參拜いたし候ところ蒙古の人にはよく解り悲しく禮拜いたし候◆寺の寶物には歷代天皇の御宸翰多き中にまた西藏の金銅釋迦如來等もこれあり候、それに朝鮮高麗燒の茶碗、千年以前の懸佛、朝鮮製天目の大德利等も面白く觀覽仕り候◆小生の木屋町の宿は鴨川に臨み夕方は蝙蝠がヒラ〳〵いたし候それに京阪電車の灯が五分おき位ゐにて對岸を走るのも相見ね候、堤はまた淺き五條橋下の川瀨に投網の人も相見ね候◆十六日以來の京の見物は徹頭徹尾お寺巡禮にて我ながら抹香臭く相成り候、然し京に來ては寺を廻るが一番よき見物かも知れ申さず候、明日は更らに奈良へ向つて志すべく候、草々。（四月十九日）

大阪財界便り

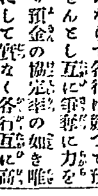
△銀行預金爭奪 時局の影響は財界を膨脹せしめ銀行預金急激の增加を示し三菱銀は一兩日は既に二億圓を超過し住友亦二億圓に上らんとしつゝあり而も預金は意外に消化されず預金增加の痛苦を感ぜざるのみならず各行は競つて預金を吸收せんとし互に爭奪に力を盡し居れり預金の協定率の如き唯其名のみにして實なく各行互に率を競ひ及ばざらん事を恐れつゝある狀態にあり、信託預金に成功せる臺灣銀行は特殊的地位に賴む所あるものか普通銀行以上に高率を拂ふも辭せざるを以て預金市場を刺戟し利率を一段昂上せしむる力あり現に最近大阪シンジケート銀行の手に於て公募したる宇治電の社債五百萬圓は六朱五厘なれば此社債金を五朱五厘見當に預入し得ば寧ろ上出來にて宇治電當局亦斯く勝を固めざりしに各行間に於て預金爭奪するため宇治電は豫期せざりし巨額の利益を獲得したるが預金爭奪戰は日を追て熾烈を加へつゝあり

△米紡機成績良好 米國紡績機械絲物を主として運輸の目的にて註文せられし高は約六七萬錘に達き由なるが最近東洋紡績註文の一萬錘も前後して近く積出さるとの情報あり斯く米國機の需要は昨年既に輸入されたる同機使用の結果三十二手の紡絲は英國機使用製品と何等の軒輊なく全く同一の結果を得たるを以て英紡機の途一遮正する折柄米國機を輸入する傾向盛んとなりしものにして要するに米國機を多數運轉する場合の損害並に機械耐久力の如何は未だ疑問とせられ居るも米國紡績業者の多年使用し相當の成績を擧げ居る紡機なれば左したる不利の事なかるべく目下印度方面大需要の三十二手以上の細絲は本邦の製產力不足の爲め註文に應ずる能はざる狀況なれば米國機の輸入は時局發展の好機を迎へ頗る有望なるべしと

△金融界崩落 大なる資金の需要なきに拘らず東京金利引緩に連れ遊金の捌きため強調を持續したる當地金融界は十九日に至り俄然崩落しコール翌日拂九厘乃至一錢と五厘方引緩み無條件一錢二厘五毛紡績手形一錢九厘四分一普通手形一錢六厘五毛と何れも引緩みたるが東京の依然一錢五厘見當の唱へなるに當地のみ急激の低落を見たるは地方より資金の回收されたるに依るもの、如し（大阪支局）

人事消息

▲三原新三氏（木浦棉作支場長） 一日朝入京天眞樓へ
▲岡東榮藏氏（三菱社員） 三十日夜入京天眞樓へ
▲中川義助氏（鑛業家） 同上
▲平田元郎氏（朝鮮郵船社長） 重態なりしが昨今輕快に赴き殆ど常態に復せりと
▲岸秀次氏（慶北道技師） 三月大邱出發尙州醴泉に赴き四日歸任の筈
▲阪東衞生課長 一日歸任



酒前茶後

◎血を見る迄もと豪語せし、露國沿海州自治會も遂に過激派の脅迫に堪へず、占領さるゝの止むなきに立ち至りたるものゝ如し。之にて全露唯一の自治會も、悲惨なる終りを告ぐるに至るか、西伯利も愈々七分八裂、群雄割據時代。

◎獨逸が今回の大戰に於て、喪失したる人口を、如何にして速に恢復せしめんとするかは、面白き問題也、其議會に於ける人口問題委員會の席、政府の報告に依れば、獨逸人口の減少率は、戰死者より多く、新婚者には、家具を安價に供給し、子を生む者には、賞金を與ふと、但し、之等の方法は、獨逸以外に於ても、實行されつゝある處なるが、獨逸が其生產率が、減少率より多しとするは、果して事實か。結果に到達しては、手段を撰ばざる獨逸の事なれば其禪術には、定めて百鬼夜行の趣あるべし。

◎漸く晴を極めたりし大陸性氣候の故か、何さしても、最近の杏身共に大に元氣付き、五月一日より機關雜誌の發行し、大に吹きかすき、如何に吹かるゝとも心配なしとは、京童の陰口。

◎一雨毎に緑深まり、昨日の雨は、花なき庭の雨、花散つて春深くし、租春亦與に遊ぶ地なし。

版 時間表 十一月一日現行 [illegible]

鹿兒島の歸化村（下）

捕虜となつた朝鮮人の子孫

島津家の厚い保護に依つて彌榮えた

島津義弘の採つた歸化民保護政策は極めて積極的で痒い處に手の屆かないのを虞れるやうな風があつた　寛文年間市來の山野數十町歩を與へられた歸化村では樹木の

▼盜伐を防ぐ　ために崔車兩名をして管理せしめて居つたが平素嫉視反目の間にあつた市來の村民は太守の保護が加はるに從つて心平かでない、鬱屈した嫉妬と不平と侮蔑は事毎に鋒鋩を露はす爲め歸化人は常に不安の日を送つて居たが寛文六年崔車兩名が市來の村民に袋叩きにされた事を知つた太守は烈火の如く激怒して下手人には

▼遠島を申附　代官には役儀不行屆の廉に因つて蟄居を命じ且の村の辻々に朝鮮人に無禮を加へた者は本人は勿論親族も罪ある可しと高札を立てさせた、一事は萬事で、總て此の調子で歸化人を愛撫庇護した義弘の政策は累代踏襲する處となつて遂ひには歸化人は他に出づる事は罷りならぬ但し他より養子を迎へ妻を娶る事は勝手たる可しと言ふが如き

▼極端な干渉　策までも施して鮮人種の繁殖を計つた島津家が歸化人を優良人種と信じてか、乃至は彼等が產業上に一種の天稟を有つて居たゝめか、其邊の消息は聢かでないが兎に角保護策は成功して八十年後には二十四戸中の歸化人が百九十二戸に増加し現今に於ては六百七八十戸を數ふるに至つた、天和貞享以來

▼士分の待遇　を與へられ姓氏名苗下し孫門建設御免の上八石六石三石六斗等の御扶持を頂戴し住地は地頭職の直支配で役人

◇歸化村の村役場

には與頭横目附牛馬見廻竹木見廻等があり聟劍柔術弓術砲術等は御師範家に入門修業を免され戰時に於ては軍人軍屬となつて出征した前記二十四姓の內

▼現存の姓は　沈、陳、卞、河、白、朱、丁、鄭、林、朴、李、車、姜、金、盧、崔、申の十七姓であるが其中朱姓の一族は島津義弘が三韓征伐の時逸早く降參して道案內をした者で金姓は金海の出で薩摩燒の名工を出し島津家から星山の姓を與へられ夙くから士族に列せられ申姓は申某が太守に御目通りを願ふ時取次がさるさると

▼太守に取次　したのが因で今でもさると呼ばれてゐる處姓は王族の流れであると言ふ說もあるが其子孫は毫も増ねぬなど、言ふ插話もある（完）

◇智子女王と大谷光暢師◇

久邇宮第三王女智子女王殿下は豫て御內定通り今回愈々東本願寺新法主大谷光暢師との御婚儀決定一日結納式を御擧行

「智子女王

大谷光暢師御婚約成立

久邇宮第三王女智子女王殿下は今回愈々本願寺新法主大谷光暢師と御婚約成り五月一日東京にて結納式ありたり（京都特電）

呼びよい番號の奪ひ合

廢止電話の申込みに就いて

‖京城局某氏は言ふ‖

五月一日から六個の官廳と六個の銀行會社に對し總督府の六千一番を始めとし順次に六千十二番までの單一電話番號を附した爲めに從來之等諸官署銀行會社で使用して來つた電話番號五十個は

◆自然消滅　して了つた譯になる、ところが其內での若い番號、呼び易い番號は變更を郵便局へ申し込んで來る者があまりに夥しく應接に遑の無い程で係員も困つて居る然しながら今申込みがあつたからと云つてすぐ夫れに應ずると云ふ事は出來た

◆考へ物で　それが爲め不公平を生ずる處もあり現在では其變更の必要を當局は認めて居らぬので勇融通の利かぬ措置ではあるが此の際は斷然此申込に應せず是等廢止番號は其儘として一切手を付けぬ事にして將來或時機を見て申込の順序に由て公平に分配する方針である其時になれば廻り合せの好い

◆申込者は　偶然好い番號が當るわけである新電話番號簿は印刷に少し手間取つたが三日には配達が出來ようと京城局では言つて居た

廢銃密輸出を企つ

大阪市南區天王寺古市政太郎は三十年式步兵廢銃三百挺を支那へ密輸出せんとし神戶水上署に發見さる（大阪特電）

盛んなりし群山開港十九周年

祝賀會の催し

一日群山開港十九周年に相當し天候快晴午前十一時より公園山に於て官民祝賀會小學校運動場にて居員運動會あり殷盛を極む（群山特電）

鐵道職工の要求

說諭により融和

滿鐵京城管理局龍山工場に勤務の千有餘人の職工全部は一日朝突然罷業を企て各部工場に聯合會議し各部職工長（卅名）を通じて小倉工場長代理に要求事項を示し若し聞き屆けざれば強硬手段にも出でん形勢なりしも小倉氏の懇解說諭に依り職工側も漸く了解納得し午前十一時頃は既に融和せるものゝ如く各部職工長は職工等を集めて翌日は必ず出勤すべき旨云ひ渡せるに何等不平ある樣子も見ゑざりきと傳らる

ネアンダー事件の用務終りて

瑞典公使館書記官フエーベル氏退京

ネアンダー事件善後の爲め過日北京よりの歸途入京滯在中なりし東京駐在瑞典公使館書記官フエーベル氏は要務終了せるを以て三十日午後七時五十分南大門發列車にて歸京せり

鰒の中毒で死亡

石川縣石川郡旭村字八田橋本猪三郎の一家三名は鰒の中毒にて死去せり（金澤電報）

朝鮮はお氣に入つた

‖支那記者團の感想記‖

‖一記者が揮毫をほしがる‖

○…先達て朝鮮を通つて日本へ往つた支那記者團の『東遊雜感』と云ふものから朝鮮に關した處を一つ二つ紹介する、十二日午前八時新義州へ這入つてから午後七時半京城へ着くまで經過する所山明らかに水秀で風景極佳で景色が先づお氣に入つた、それから朝鮮の人白衣を服る婦女偶紅色を著くる者あり、田間の風俗淸國南行安徽江西一帶の相似たるの點甚だ多しさあつて風俗もお國振の所が御意に召した、午後一時半宇佐川總督府の京日社長が遠路の所態々お出迎下さつてお土產品を色々頂戴する、京城へ着くと又々皆樣の懇々しいお出迎ひ車中で一回車を下りて又一回宮前班の御厄介になつた、それから車を飛ばして朝鮮旅館に乘着けた、ここで一寸譯者の方に異議があるのは朝鮮ホテルを朝鮮旅館と書くのは漢字でなければならぬ國柄の事とて是非なしと云へば是非もないが朝鮮旅館と言つてはどうやら朝鮮宿のやうに聞ねてハイカラのホテルとは思ひにくい何にかい、漢語がないものか、さうは言ふもの〻お客樣達の感想によると旅館の設備は之を北京で有名な六國飯店ー飯店と云つては矢張り一膳飯屋に聞ゑる、に較ぶればより完全である、すら部屋もお氣に入つた、八時半から三島自銀理事の御招待で花月へ出掛けた、日本料理の美な盛したもので杯酒の外佐くるに餘興を以てす第一幕は乃ち日本の藝者共が中川花月樓と云ふの踊つてみせた、美しい藝者が兩國の國旗を揭げて舞ふのである、國門を出づる者にして國の嚴を見る、人をして愛念之を久しうせしむ、第二幕は乃ち朝鮮の妓生が美女簪花と云ふの踊つて見せてくれた、其陳韻靡し改善樂均しく皆國と相似たる處あり、所謂陽江猶唱後庭花と云ふもの之なり、これで宴も御氣に召したわけである、うち就や揮毫紙が持出されて揮毫數枚い心持に收まり返つた一偉日本人には書道雅り貴妓嬢には藝者連の中にも書道を習ふ者があつた、さてはあの晩の接待の揮毫をほしさうにしてゐる者連の中にさう云ふ風雅なのもあつて早くもお客樣達のお眼に止つたもの〻見ゆる、お客樣達の御得意知るべし果然あの晩の歡迎宴は大成功であつた、

憲兵駐在所燒失

二十九日午後七時民家より出火し江原道寧越憲兵分隊新川駐在所燒失す損害原因其他目下取調中

春季種痘

京城府の春季種痘は先月二十九日南大門外町內見番所に皮切りに一日は浪花館で行はれた子供は當才から十八九才の者が多くみんなお母樣に作れられて來てボテ〳〵と肥つた羽二重の樣な肌をお醫者さまの前に出して施して貰つてゐるが小さい兒は却々騷がしい、お醫者樣も一日四百人からの子供に種痘しなければならぬので中々骨が折れる（三日は一日浪花館にて）

通譯生の自殺

平壤監獄通譯生劉炳奕（三八）は二十九日平壤府德九里の自宅に於て朝より飲酒し正午過ぎ妻の外出せる隙を見て阿片末を多量に服して自殺したるが原因は生活難より精神に異常を來せしものならんと（平壤）

パゴダ公園夜間開園

‖五月一日より‖

同公園は五月一日より午前八時開園し午後十一時閉鎖のことに改正せるが同園のライラックは今や花盛りにて香氣馥郁として實に得も云はれぬ風情あり

慈善演藝會決算

過般朝鮮ホテルに於て開催せし女子大學櫻楓會京城支部慈善演藝會總收入金は八百九十三圓にして內純益金五百八十三圓九十七錢七厘を東京託兒所、白井義孤兒救濟會及び京城慈善會に寄附せりと

爆彈を投下して射殺

廿一名を殺せる浦鹽強盜團

白晝民兵の爲めに誅戮さる

二十一名を殺せる浦鹽強盜團の中二名は二十九日午前浦鹽の大通りを腕車にて通行中民兵の爲め追はれて爆彈を投下したれば其場に射殺され白晝慘劇を演じたり其際右の强盜に殺されし者の遺族通行中なりしは奇しき因緣なり（浦鹽電報）

坊ちやん孃ちやん達のために

お伽噺の會を開きます

日頃我京城日報を愛讀して下さる少年少女達の爲めに本社は何とかしてお禮を申し度いと考へ中でありましたが愈々今回京日お伽會を新設毎月數回面白くてお腹を抱へて笑ふ中にお爲めになるお伽噺をお聽かせする事に致しました、その第一回講演會を日曜日できうして節句の五月五日左の通り開く事になりましたから坊ちやん孃ちやん是非お出で下さい

京日お伽講演會

講師　龍山淚光先生

演題　◆孔雀鳩◆浮れヴアイオリン◆姉と妹

開會時日　五月五日（日曜日）午後一時

場所　市內日の出小學校講堂にて

地方巡回講演は追つて發表いたします

京城日報社

山梨鄉友家族會

京城山梨鄉友會にては五日午前十時より家族會を西大門外□□園に開催場內には模擬店を設け餘興としては運動、福引等ある由

灯ともし頃

▲□觀寺の祠堂に祀られた□□李□公殿下の□像が出來上つた▲雕者は靑年□□家として名高い□□□□像で□かが□ひと□□も及ぶ□ばの□□□□下が□年生した念ひがあると言つて□□□□の□□も…▲其結果だん〳〵と…は非常に好運したが…なる許りで宿屋でも料理屋でも此等地方人で…（以下判讀困難）

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一葉毎に雅號又は住所氏名明記の事▲一人一題▲二十錢郵便切手を添ふ▲

讀者文藝　課題及募集規定

天氣　晴れ（二日午後六時迄）

商況

兵庫期米

二十六圓八十□錢

東京期米特電

二十六圓七十七錢　七十五錢

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

綿絲布反撥

新甫發會は益々人氣の轉換を來せり各期に亘り入電なかりし新甫十限は三百三十四圓三十五錢と寄付□□□□し二十九日の九限引値の三百十八圓五十錢よりすれば十餘圓高に□□ものにて綿布三銘柄十圓六七十錢

米棉

正米稍強調

底意稍々强含み

二十四圓七十錢

大阪神著

東京尙堅調

眼先氣締り模樣

萌

內地砂糖崩落

下關相場

釜山穀物（三十日）

仁川正米

神力三等合格品二十二圓四五十錢を唱ふ

生魚市場

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店

新甫發會す

大阪跡安

中先の鞘は引直二十三錢と擴大

大商盛裡に小變動を演じ

倉重仲買店

仁川　電話長三三〇六番

仁川米豆取引所

一日の七月限

市場雜觀

糯漸く氣弱す

瓜哇糖減收の報

氣崩るも今一段の下値

粟續いて氣安

幾分軟味

多少引弛み

白米引戾す

十錢の安　更に一二

雜穀無見當

仁川期米

一日前場（小變動）

二圓四十五錢と十七錢上鞘に發會

一錢より三十九錢先四十

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郞

仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郞

木仲買店

東電不著は問題

臨時休會

東京當限解合

大阪俄然低落を報じた何の意味

强弱共に緊張

限月發會

大天災期

北に向って進行く繁榮

◇北朝鮮も昨今景氣の好い事ばかり◇

◆造船業=木船が盛に

淸津に於ける木船製造業は近來著しく勃興し目下五個所の造船業者に依るも本春に入りて既に造船せられしもの六十餘隻に達し主に石油發動機船、漁船、帆船なるが今迄に造船せしものゝ中にては五十噸級の帆船が最大にして普通長さ八尋巾九尺內外の漁船最も多しと尙ほ本道沿岸各地よりの註文多く甚だ手不足を感じ居る狀態なるが淸津の造船業は將來益々發達の見込にて百噸乃至二百噸級の大型船をも近く建造するに至るべき狀勢なり尙ほ材料は全部琿春材を使用せるが琿春材は長大物多ければ大船巨舶をも建造するを得べし

◆牛の値=著しく騰貴

例年春季農耕期に入ると共に生牛の需要增加に伴ひ價格の昂騰するは例とする所なるが本年は其傾向一層甚だしく二月頃上等牛にて牡牛八十圓牝牛五十五圓內外なりしもの三月に入りては平均五六圓方騰貴し牡牛八十五圓牝牛六十圓內外となりしが四月に入りては一躍二三十圓方暴騰し昨今牡牛にて百二十圓牝牛にて八十圓內外を唱ふるに至りしが之が原因は以上農耕需要の外三月末來橫斷航路開始に依り內地移出の途開けたると浦鹽方面時局の切迫を來せる爲め某方面に牛肉の需要を喚起せる者なり

◆海の幸=漁業繁昌

咸北道沿岸に於て現在從業中なる內地人漁夫は約七百名なるが多くは九州中國四國方面の比較的波浪穩かなる海上に於て漁業に從事せし者にて咸北道沿岸の如き寒流に面し波浪高き沿岸に於ては充分なる從業不可能なる爲め本道漁業も充分なる開發を見るに至らざりしが今回日本海橫斷航路の開始と共に日本海沿岸並に北海道方面漁夫團の出漁し來るべき計畫各所にありて而かも彼等は本夏より初秋にかけて來鮮すべき意嚮ある由なるが此等日本海北海道沿岸の荒海に馴れたる漁夫團の來北と共に北道の漁業界には一大進展を來すべし

◆電燈か=會寧に點く

國境會寧は昨秋淸會線開通以來頓に人口を增加したるが來年度に於ては旅團司令部をも設置さるべきを以て益々發展の趨勢に在るが同地には未だ電燈の設備なきを以て地方人は豫てより之が計畫ありしが今回大邱電燈會社社長小倉武之助氏と地方有力者等が發企となり六萬圓の株式會社を組織して之を經營する事に決し數日前願書を其筋に提出せるが許可なり次第工事に着手する豫定なりと

◆六道溝=繁昌の中心

滿鐵技師が吉會線實査の時と殆んど同時に天寶山會寧の輕鐵敷設の事に確定せるを以て俄に間島の繁榮を昂め間島に入り込むもの著しく增加せるが殊に六道溝は間島に於ける日鮮人の商工業中心地として家屋及び地價は大に騰貴し目貫の場所に於ては坪三十圓の高價を呼ぶに至り從つて場末の家屋土地の如きも相場大に上りしを以て移住者は大に苦み居れり

◆頻繁也=旅客の出入

本年一月より三月迄の國境會寧出入旅客は入境內地人百九十八人、朝鮮人一萬六千六百一人、支那人一千四百五十六人、其他四人、計一萬八千二百五十九人、又た出境は內地人二百七十三人、朝鮮人二萬三千七百二十九人、支那人一千七百八十一人、其他二人、計二萬五千七百八十五人にして出境は入境より七千五百二十六人多きが之れ間島移住鮮人の本年著しく多かりしに原因すと(淸津)

暴狀日に甚し

◆拘撲に加擔せる巡警◆

哈爾賓に跳梁せる支那兵及び巡警は近來邦人及び各在留外人に對して著しく橫暴傲慢の態度を示すに至り非禮の擧動多からんとする折から最近左の如き事件の二度まで同時に繰返されたるは時節柄大に注目すべき事なり(哈爾賓)

其の事件と云ふは去る四月廿三日の事なり哈爾賓にて日本酌婦二名が街路通行中、途上警備の支那巡邏之れに戯れ掛りたるより酌婦等は何氣なく手にて之れを拂ひ除け通り過ぎんとしたるに如何なる機會か女の手が支那巡警の顏に觸れたりとて巡警は烈火の如く怒り無法にも之れを亂打したるのみか此の暴行を制止せんとしたる他の一邦人をも毆打したる上之れを地上に突き倒し何れへか姿を晦したり又他の事件と云ふは之れも同日の日暮れ頃の事、哈爾賓在住の邦人日華洋服店主の妻女某と同家雇人伊藤及び瀧川某の三名とが松花江岸散策の歸途、人通り稀れなる處にて三人の支那人に襲はれ伊藤某は日貨六圓在中の財布を奪はれたるより掏られしと氣付きたる伊藤は其の支那人を捕へんとして格鬪をなしたるが之れを目擊したる周圍の支那人の野次馬は拘撲に加勢し邦人を散々袋叩きにし一行に輕傷を負はさせたる事是れなり單に之れのみならば左程怪しむに足らざるも茲に奇怪千萬なる又許し難き事と云ふは之れ等の事故を取締るべき害の支那巡警二名迄が野次馬に加はり邦人に暴行を加へたるの一事なり

延燒二百町

◆淸會線沿道の山火事◆

淸會鐵道沿線古茂山驛の北方武陵臺附近の山林より此の程火を發し同鐵道保線係員は勿論富寧憲兵隊員も出動して消火に努めたるも火勢猛烈にして遂に二晝夜に亘り山野約二百町步一里四方を燒きて鎭火せり原因は汽車の煙突より出でし火の子なりと(淸津)

白晝兇賊の徘徊するを

如何にして防止すべき乎=三途の方策

馬賊！馬賊！

◇厄介な滿洲の一名物◇

滿洲は殺風景な赫氷期も過ぎ遲蒔ながら春色今や酣ならんとするに在住の邦人は日々此の賊な〳〵襲擊に戰々兢々さしてゐる

滿洲で一年中一番平穩な時分と云はれる此頃殊に去る四月に入つてからでも二回や三回と云ふ生優しい馬賊沙汰ではない、大體彼等の遣方が普通に品物だけを取るのみなればまだしも、取る事を後にして頭から危害を加へてかゝるのであるから堪つたものでない、然も旭日旗下の支配にある附屬地內で夜は勿論朝と云はず夕方と云はず場合によつては

白晝熱閙の街上に

(而も衆人環視中に堂々執行する)

然るに我が威力の及ばない舊市街即ち附屬地外には彼等の來襲殆んど無く却て安全である爲め何れも附屬地の無力を冷笑してゐる樣な奇なる現象を呈してゐる、故に割合平靜なる此節でも夕方よりは戶每に表の戶を閉して仕舞ひ訪問客でも一々誰何して確めねば開けない、婦人も絕對に一人步きをしない、男子でも人道を步まず車道を行くと云ふ樣に注意してゐる有樣である、勿論警務署に於ても警備に就ては出來得る限り否ヨリ以上の注意と勤務を吝まず從事してゐるのであるが大體が人員の不足して居ることとて充分運用することが出來ない是迄屢々上司當局にも陳情して人員の增派を要求してゐるが如何なる理由か今以て解決を見ない、或は從來の被害事件を以て馬賊と云ふが如き大なるものでなく單に鼠賊輩の橫行するに止まるとて放擲して居るのかも知れないが、由來彼等の行動は

實に不可解にて

(昨日の豆腐賣も今日は馬賊と變じ)

今日の馬賊も明日は溫順を裝ふ野菜賣となるはまだしも、甚しきは保安の任にある巡警が馬賊の群に投じるのも珍らしき事ではない、齒牙にもかけない鼠賊でも事に觸るれば獰猛極りなき馬賊と變じるのが常である、假に其れが一小鼠賊の仕業とするも懷かしき母國を後にし朔沙吹く北滿の天地に活躍せんとする邦人が生命財產の保障を得られないならば恰も西伯利亞各地に在つて橫暴なる過激派の下に生活してゐる露人と何等大差ないのである、近來內地資本家及び鮮滿有力者間に滿蒙開發とかイヤ北滿貿易の伸張とかと頻りに喧傳せられてゐるが威力赫々たる我が勢力範圍にある滿鐵沿線殊に長春附屬地に於てさへ此の如き狀態にて一步踏出せば生殺與奪彼等の掌中にある北滿の天地に於て邦人の

發展を云爲するのは

(木に緣て魚を求むるより甚だしい)

である、既に最近朝鮮の某地にある人よりの報信に一度長春方面を視察したきも非常に危險なりとの事に見合せ居れりとの一節があつた、此れは聊か極端に過ぎては居れど南方に在る一部の人々にして此の如く北滿に對し不安の念を抱いてゐるものも多々ある事と思ふ否有るべきが當然で、現に長春在住の市民は戰々として掩ふべかざる不安裡に其日を過しつゝあるではないか。假令一人にても斯くの如き言を爲さしむるに至つたのは敢て當局の罪ではなからうかと思ふ。此の憂患を除去し警備機關の充實を全ふしない以上北滿に於ける邦人の發展を阻止せらるゝは勿論遂には諸外人より輕侮を受け燦たる日章旗の權威に一大汚點を印するに至るやも知れない、然らば其の警備に就ては如何にすればよいかと云ふに警官の增員も勿論必要ではあるがそれは只僅の上の彌縫を逐ふと同樣なる一の姑息手段に過ぎない、要は彼等を我が沿線より驅逐するか或は威服するか

彼等を手馴付け

(兵を以て脅か馴する外はない)

何れにせよ其目的を遂せんには手段方法の如何を選ばず斷乎たる一大決心を以て遂行せねばならぬ、即ち往年某氏の採り來れると同樣の方策の下に彼等に臨み我が勢力圈內に向つては一指も觸れしめず附屬地は儼として生命財產を安固に置く樂天地とせねばならぬ、斯くして始めて我が國力の增進も望まれ滿蒙開發と云ふ大なる目的をも達する事が出來得るのである、我が當局の威力に倚賴し貴重なる生命財產を托し附屬地に居住せる四千六百六十餘名の邦人と一萬一千餘名の支那人及び外人に此不安裡より脫し愉快に、そして潑溂として其業に盡し得るの日は果して何時來るであらう？嗚呼？(長春)

群山の廻著米

汽車廻著米

驛	數量	驛	數量
細里	一〇五六九	金堤	一三五五
大田	一三六	泰仁	四四七二
連山	二六	井邑	二〇九七
沃川	一三	新泰里	二六
成歡	六六九	羅州	一四三
論山	二五四	榮山浦	二〇
黃登	一四六九	全州	一一四四
扶餘	五五九	計	二四〇八二

水運廻著玄米

地	數量	地	數量
夢山	三七〇	節川	四一六
東莞山	八一四	廣川	二八三
萬頃	三三一	益山	六二五
茁浦	八〇	保寧	二〇五
山陽	二七八	論山	一六〇
扶餘	四三六	金堤	八三
同郡內	二三〇	沃溝	二〇五
扶安	一六五	瑞山	二五
同郡內	一四五五	計	六二三八

水運廻著の籾

地	數量	地	數量
江景	一〇五八	扶餘	三九〇
茁浦	二三七六	舒川	一八九九
吉山場	一二六	洪城	一〇五六
保寧	七四	論山	六五
金堤郡內	四六〇	高敞	二一一
東津江	一〇四九	沃溝	一二八
瑞山	一四七二	安眠島外十一ヶ所	三一三
益山	三七七	保寧	八五二
鎭川	一八四	扶安	四三三二
		計	一八三二二

雲山の罷工騷

◆一先折合ふ◆

去月以來平北雲山郡北鎭なる米人經營の東洋合同鑛業會社一部職工間に同盟罷業を見るべき形勢ありとの報ありしが其後の經過に關し詳細なる模樣を聽くに同會社に使役せる百五十餘名の內鮮支人職工は三月二十八日夜同地某所に會合し給料增額を會社に向つて交涉する事に決して其の交涉は書面を以てし全部連署捺印すること及び交涉中業務を休廢せざることを決議し

內鮮支人各代表者

を選びて當夜は無事解散せり此事早くも會社側の知る處となり若し同盟罷工起らば一大事なりと社員を派して直接鮮支人職工間を巧に說破せしめんと企てたるに職工等の多數は解職さるゝ事を怖れて一致的の行動に逡巡する者を生じたるより內地人職工側に於ては

鮮支人を除外して

單獨行動を開始するに決し其代表者は四月十日夜會社員レメジョス氏を介し直接事業監督ワレス機場監督オールドリッジ兩氏に會見し物價騰貴に伴ふ生活難の狀況を縷述して勞銀の値上げを實行せられたしと交涉するに至れり之に對し前記米人工場長等は職工の境遇は同情に堪へざるも會社側に於ても事業經營上に要する諸材料は徐々昂騰するに反し產金相場之に伴隨せざるを以て支出失費多く加ふるに米國より諸材料輸入杜絕し

經營困難の折柄

直ちに賃金の値上げを實行し得られざる事情あるを以て平素の如く業務に勉勵し時機の至るを待つべく會社に於ても生計難を雲煙過眼視するものにあらず相當の救濟方法を講ずべく目下調査研究中なり尙總支配人ウヱルバン氏の目下渡米中なることゝて同氏の歸鮮を待ち賃金値上げに就て懇談すべしとの答辯を得て內地人職工等は滿足して退去し爾來平靜に歸し世間に一時喧傳されたるが如き大問題に及ばずして無事解決せり(平壤)

待るゝ吉會線

吉會線の敷設は其の何れの時にあるか不明なるも存外早かるべしとは事情に通ぜるものゝ說なり而して會寧より間島に達する豫定線には三あり一は會寧より六道溝に達するもの二は會寧より鍾城附近に出で浦川を通過し東盛湧に出で局子街に達するもの三は會寧より鍾城の下流穩城郡の水口浦より馬派に至り局子街に至るものなるが此三線は比較豫定線にあれば何れに決定するか不明なるも若し二の如く日本人發展の根據地たる六道溝を通過せざる如き事あらば由々敷大事にして日本人の發展を根底より破壞するものとして憂慮されつゝあり(淸津)

安東縣穀價

(產別)	小賣(石)	卸(斗)	(產地)
白米上	二、九五〇	二、八五〇	附近
白米中	二、七五〇	二、七〇〇	同上
白米並	二、七〇〇	二、六五〇	同上
(種別)	小賣(洋錢)	卸(洋錢)	(產地)
粟中	二、六五〇	二、六〇〇	同上
玉蜀黍	一、七〇〇	一、六五〇	同上
大豆	二、一五〇	二、六〇〇	同上

粟、玉蜀黍、大豆の單位は擔にして日本の一石八斗に相當す(三月末現在平北道廳調査)

昔捨場に困た醬油の粕まで

(今では金で買ふものがある)

五六年前迄で平壤では醬油の絞り粕は各工場に於て捨場に困り少なからぬ運搬費を支出して捨てさせたものであるが平壤の發展と地方農家經濟の膨脹に伴うて三年程前より醬油粕の肥料用或は養豚飼食料として各方面の需要を喚起するに至り漸次其販路を見、百斤二十錢位で賣買するに至つたが其效果著しきを知悉せし鮮人等は之を肥料に用ゐる現時の如き漸く需要期に入らんとして相場も著しく騰貴し目下百斤五十錢見當を唱へてゐる狀態で隨つて大拂底を告げてゐるとは何でも金となる世の中になつた(平壤)

染めたと見えぬ髮の染方

□見苦しい染方　從來の人の染めた髮を見ると、如何にも際立つて態とらしく、色澤が一般の人の髮と違つて、一見染めたと分り、其上變な黑い色が首に附き枕に附き、直に剝げて終ふといふ工合で、自然の美い髮の毛のやうな色澤に染る染毛劑は在りませんでした

□完全染毛劑現る　時勢と共に追々進步はしましたが、併し未だ自然の髮の樣に染るのが無い、染め度いは山々だが、染色が餘り不自然で斷然目立つので困ると言つて遂ふ有樣でした。毛を染める必要のある人々が、斯うして何非常な不自由を感ぜられてゐた所へ、新に完成發賣されたのが、現今最も進步した白髮赤毛染として、各家庭に賞用されるナイスです。

□理想的の染り方　專門の學者が深い研究で出來た丈けあつて、このナイスで染めると少しも態とらしい所が無く、染めたと見れず、丁度生れついての毛のやうな美い色艶に染まつて、束髮でも日本髮でも非常に結ひ工合が宜しく、又年とつた方にも不似合な事が無い自然的の色澤に染り其の上染方は何の造作もなく、時間は僅か二十分で染上り、保はよく外へは絕對に附きません

□きつと御滿足　ナイスは斯ういふ珍しい染毛劑ですから、今では白髮染といへば何人もナイスで染めるのが極のやうに成つてゐます、一度ナイスを使つた方は、二度と外の染毛劑を使はれません。もしも未だ使つた事のない方は早速試して御覽なさい、屹度御滿足なさるに違ひありません

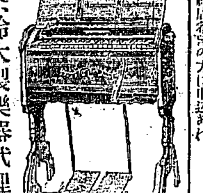
□その證據　毛染劑の中でナイスが殊に優秀な品質を有する事は、各地の大博覽會に出品して、每も公明なる審査の下に、最高名譽なる金銀牌を受領せる事に依ても證據立てられます。幾多の染毛劑の中でかゝる光榮を有するのはナイスが嚆矢であります。發賣元は有名な健腦丸本舖大阪心齋橋東京日本橋小林丹平商會で價は男子用卅錢小瓶四十錢大瓶七十錢各藥店化粧品店に販賣、僞の造で賤い染毛劑を買て御後悔あるな

御證明　帝國發明協會名譽會員　藤木先生發明　紳士用特許防水衣は布帛の色艶を損ぜず表裏布帛の間にゴムを密着し防水力確實ベタツカズ、コワバラズ體裁宜く縫目はゴム布を貼りインバまんとトンビ、けつと外套等各種廿四五圓內外
●見本及定價表無料送呈　京都府上賀茂　星川發明部　振替大阪
◎特約店、外交員各地に募集す

職業

美職遠近男女誰にも自宅で手藝に出來る年中無休熟練日收一圓以上　製品永久確實に買受く　以上詳細郵券十錢要す
▲此際各地に特約店募集▼　東京淺草區北三筋町一　三星總本店

東洋捕鯨株式會社特約販賣店　鯨問屋　香月商店　京城府明治町二丁目四八　振替口座京城四八四六番　◎特約店希望の方は申込あれ



(目錄進呈)　山葉、鈴木製樂器代理店　各樂器小賣卸　セヤマ樂器店　京城本町二　振替京城五二一五番

看護婦募集

規則書御申越次第送る　京城より當地迄旅費支給す　大連市西公園町三六電話三〇八　遼東看護婦會

▲最新流行帽子▼

春向　ソフト　中折帽子　金二圓より　金六圓迄
パナマ帽子　金一圓より　五圓八十五錢迄

▲送料鮮內十二錢外二十錢　▲烏打帽其他最新形澤山　御取揃へ居り候　御注文の際は柄向(縞とか無地とか)色合御嗜好及價格(頭廻りの寸法)御申越被下候は必ず適當の品見計ひ御送付可申上候　京城太平通　京城日報代理部　電話構內十八番　振替京城三〇〇番

(大口歡迎)　黃金町長谷川町入口　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

▼合服、三ツ揃▲
▲特(薄手ボーラセル、撚絲セル)金四拾貳圓也
▲甲(同上ホームスパン)金參拾八圓也
▲乙(同上)金參拾四圓也
◎オバーコート壹割下げ
送料鮮內二十四錢外五十錢　○地方御申越次第見本帖と寸法取圖解御送付可申上候　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

建築金物土工用具一切　八角鋼並ニ黑鉛用金網　鑛業金物製作販賣　地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計リ可申候　直輸入商　京城本町一丁目　佐野彥藏商店　電話百六十三番　振替京城一二〇番

あらゆるもの無手數にて取扱申候　化粧品石鹸問屋　伊勢勘商號　大阪市南久宝寺町三丁目　振替大阪二八二五番

設立御披露

謹啓今般時運之趨勢に從ひ業務擴張之爲め從來越川忠平之經營に係る桐生屋大連及奉天株式店一切之營業並に權利義務を繼承し滿鮮證券信託株式會社を設立致し更に營業科目を追加し營業開始仕候間何卒倍舊之御眷顧を賜り度奉願上候右御披露申上度如斯に御座候
追而目下本社新築中に有之候に付當分の處元桐生屋大連株式店跡を假營業所と致し候
大正七年四月廿五日
大連市三河町三九　滿鮮證券信託株式會社　電話(三二〇二番・二六五三番)　振替大連二一〇二番
專務取締役　橋本貫男
常務取締役　越川忠平
取締役　江守淸次郎
監査役　岸本當次郎

營業科目
一、內外國債、地方債、社債及株式募集ノ取扱及ハ引受
二、有價證券ノ賣買、仲介、貸借及代理行爲
三、有價證券ノ保護預リ及通信、調査事務
四、動產不動產ノ受託及處分等ノ代理行爲
五、商品ノ輸移出入ノ貿易事務及委託賣買
六、前各項ニ關聯スル一切ノ業務
下名儀從來桐生屋大連及奉天株式店經營罷在候處今般本店之合議之上業務之一切を擧げて新會社に讓渡候に付ては何卒倍舊之御引立を蒙り度此段御挨拶旁々御依賴申上候　頓首
元桐生屋大連株式店主任　越川忠平

優等淸酒

福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話一〇三三　振替口座四三九番
樽賣御斷り

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通五丁目十四番地
株式會社　漢城銀行
頭取　李允用
專務取締役　韓龍
支配人　石鎭衡
電話二六四六番・二三九番　振替京城一八六二番
支店　水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山
出張所　鍾路、東幕

●仁川期米　●一日後場　大阪前止め二十六圓七十錢後寄未著にて當限二十二圓十錢より一八
平均値段……

仁川米豆取引所　一日の七月限

◎連絡船上陸客　三十日午前釜山入港高麗丸一二等客
一、入江英一郞、同ちよ、杉浦さん、新治みち、同ちよ……

見逃告者には五十錢書籍券を呈す　但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

豫報

塚原卜傳

悟軒道玉口演

第六十二席

藤田權頭が何か思案に餘つたと見ゆる一言に妻の八重も不審に思ひ
八『改まつて妙なことを仰しやいますが、固より良人に隨ふは妻のつとめ、貴夫が此家を立てようとどうしようと妾に異存のありやうはございません、併し其れは何事で……
權『他ではないがお前も知る通り兄土佐守帶刀が非業の最期、敵と目ざす彈正左衛門、然るに明日彈正が當社へ參詣をいたす何ういふ考へかは知らぬが願つてもない幸ひ、兄の敵一ト太刀なりと恨まうと思ふ、首尾よく參つた

處で先づ私は生きては居られぬ、就ては藤田の家名斷絶をいたすやうな事出來しては亡なつた兩親へ相濟んが、どうもミス／＼敵を目の前に見て安穩に蒼還くといふ事は出來ない、ソコで此家を私が貫ふとお前に申したのだ、其れに就てお前是れから娘の操を連れて越後の春日山の親戚年賀志摩守方へ立ち退いて呉れるやう、書面は私が認めて置いた早くどうか當地を立退いて呉れ 八『成程御ッしやいます處は御尤に存じますが、併し御先途を見屆けずに當地を立去りまする事は妾には出來ません、死なば諸共に…… 權『イヤ／＼夫は大きな心得違ひ、娘の操が成人いたして後に良き婿を取り、再び藤田の家の繁昌を見せて呉れなければ、何分お亡くなりになつた先代へ私が濟まぬ、お前が娘の儕に附添つて萬事氣を注けて呉れ、お前が居たからとて、足手纏ひにこそなれ何の役にも立たん、却つて私の切先が鈍る、どうぞ今の內に立退いて呉れ、私も乾度死ぬと極つた譯でもない、逃れるだけは逃れる覺悟、併し對手は容易ならざる大敵、命を捨るものと覺悟をせねばならぬ、茲の道理を考へて早速支度をして』と願ての申し條、お八重も涙と共に支度をして、大切の品衣類などを纏めまして當年七歳になる娘の操を連れ、長臣召使つて居りました源右衛門といふ老人、是へ權頭が豫じめの事を申付け、僕に荷物を背負はせ一時知己の方へ四人の者を立退かせました、後へ殘つた權頭、是で厄介拂ひをした先づ宜しと喜んで居ると翌日になると佐竹彈正左衛門數多の供人を召連れまして、行列を立つて輿物にて大杉山へ參り、已に神前へ今輿物から出ようといふ時に、藤田權頭對手は大勢の供方がある、時に取つて屈竟の飛道具、弓矢とを取つて引番ひ滿月の如くに引絞り、兵と切つて放せし矢は、羽響き高く輿物目懸けて飛んで參りました、此時駕籠の傍らに控へた柏木一角といふ奴、矢ごろよりハッシと其所へ斬つて落した、一の矢を斬落されましたから殘念と二の矢を番へようといたしまする時に 柏『方々御油斷あるなソレ曲者を召捕れッ』一角の呼はる聲に心得たりと安藤典膳、野田郷右衛門、吉沼五左衛門、高橋逸平太、鶴見新之丞、蓮沼傳藏等を始めとして大勢の家來、豁地に飛掛つて參りました 權『南無三仕損じたるが殘念』と身を悶れたが致方がない病身ゆゑハッと思ふとゞな其所へ弓矢を叩き落され、高手小手に縛められました、權頭はバリ／＼と齒を噛んで殘念無念といふ時に輿物の中から立出でた當の敵佐竹彈正左衛門と思ひきや、遠藤五平次でございます、權頭を睨み付け 五『如何に權頭、大方斯樣な事もあらうかと彈正左衛門樣の御名代として此の五平次が今日代參を相勤めた、夫と知らず此方の輿物へ矢を飛ばし、正に彈正樣へ敵對いたしたに同じ事である、已れは塚原土佐守の弟、罪は逃れん覺悟いたせ、汝の兄は謀叛を企たに依つて誅伐を蒙り、其方は其餘類、何の道罪は逃れんぞ』と權頭を引立てました。

乳牛 陸海軍御用 **岡野牧場** 京城東四軒町 電話一〇六九

旅行中の處歸京從前通り診療に從事致候
內科 小兒科 女醫 **川崎朋子** 京城明治町二丁目 電話長一五〇四番

暦

五月三日 九星 舊三月廿三日 庚戌 本命五黄 八方 破 先勝

▲五黄● 願ひ事は[illegible] ▲六白● 公明正大の[illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● 他のせわ事にて[illegible] ▲九紫● [illegible] ▲一白● ふてくさりの事[illegible] ▲二黒● [illegible] ▲三碧● 蟲の好かぬ事[illegible] ▲四緑● [illegible] せわ事せぬがよし [illegible] は用心せらるべし

演藝案內

黄金館 天然色活動寫眞株式會社京城黄金町一丁目代理店 電話二三六七 二三六六
▲當る四月三十日より特別三大寫眞提供 ▲滑稽 眞夜中頃 ▲新劇 有馬音頭 ▲人情活劇『母の愛』 ▲新派悲劇『殘る母娘』 [illegible]

稲荷座 本町五丁目 電話二參二八 [illegible]

骨つぎ(うちみ・くじき)治療 明治町ふらんす教會前 荒川仁壽堂 電話二五九五

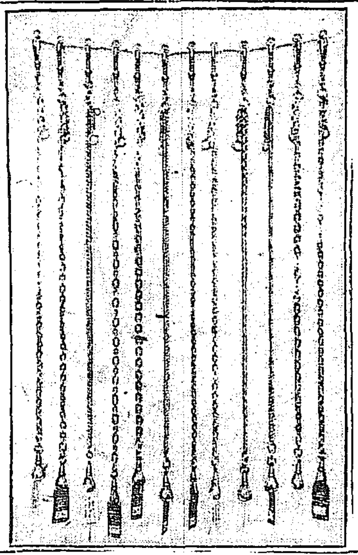
有樂館 活動寫眞常設館 [illegible] ◎入場料は今回に限り破格金拾錢 金廿錢

浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 ◎五月二日より開演 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

銚子港 田中玄蕃醸造 **ヒゲタ醬油** 代理店 京城明治町一丁目 發賣元 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町四丁目 **石川醫院** 電話一二七二九番



アメリカ製十八金張十ヶ年保險付 壹本特價金四圓 送料十二錢 京城太平通 振替京城三〇〇番 **京城日報社代理部**

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千貳百貳拾萬圓 總預金 貳億貳千六百萬圓 株式會社 **第一銀行京城支店** 京城本町二丁目 振替貯金京城一〇一番 電話一二六一・二三七番 頭取 佐々木勇之助 支配人 西村道彥

內科 眼科 小兒科 京城黄金町三丁目赤門通(電車停留所前) **本田醫院** 院長 本田建義 附屬 京城肛門病痔疾療院 電話二四四二番 振替京城三三二八番 入院隨意 肛門病の話 附痔疾持種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す

醇良無双清酒 衛生無害品質無双 登錄商標 **有薫** 發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番 釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

外科 皮膚科 **瀨戸醫院** (診察夜九時迄) 京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番 醫學士 瀨戸潔

汽車時間

京釜線(南行) [illegible] 同(北行) [illegible] 湖南線(南行) [illegible] 同(北行) [illegible] 京義線(北行) [illegible] 同(南行) [illegible] 京仁線(仁川行) [illegible] 同(京城行) [illegible] 京元線(北行) [illegible] 同(南行) [illegible]

生地から色を白く生々したしく美さを添え
毫も態とらしくない上品な化粧榮えのする

御料 御園白粉

皆様が常に御愛用遊ばす御園白粉及御園化粧品は、十數年と云ふ永い年月の間完全なる設備の下で熟練した技師が最新の科學に基き、原料は飽く迄精選に精選を重ねて謹製して居りますので、其品質の優良にして完全なるは今更申迄もなく、製品は一々殺菌消毒を施してありますから衛生上有効無害な點に於ても眞に化粧界の模範品で御座います。されば此御園白粉及御園化粧品で御化粧遊ばすと、肌理が細かく滑らかになり、お顏の色艶が非常に麗はしくなり、其御化粧姿は何んとも申分ない程上品で且つ美しく御座います。

御料御園白粉本舗 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

(416)

京城日報 第五版
年中無休刊(祭日翌日休刊) 大正七年五月二日 THE KEIJO NIPPO 明治三十九年九月八日第三種郵便物認可 第三千八百十號(一)
五月二日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)

英國の政界一斑(三)

蘇峰生

政治家と新聞

九 兩雄の對照

アスキスは要するに中等社會を代表する政治家である。所謂る平民的政治家、群衆的政治家、善き意味に於ける煽民的政治家の資格は彼に全く缺乏して、而してロイド●ジョージの本領は寧ろ却て此にある。彼の議論は必ずしもデモクラチックとのみは云はれない。併し彼はデモクラシーの胎内より生れたる兒である。彼が帝國主義的主張には、國家を無視する極端なる勞働者は、決して随喜せぬ。されどデモクラシーの代表者、現在の社會、否な未來の社會の代表者を求むれば彼である。

兩人共に現在に立脚するも、アスキスの雙脚は過去にあり、ジョージの雙脚は未來にある。彼は人の思うて云ふ能はざる所を云ふの勇者のみならず、亦た之を行ふものである。固より全く行ひ得たりとは云へない。彼が一昨年の冬より理想的の内閣を組織したる成績を數へ立つれば、其の看板の誇大なりし割には、否な世人が其期待の多大なりし割には、その効果の貧弱なるに驚かざるを得ない。

『スペクテーター』雜誌が、彼の議會に於ける演說を評して、此の演說をして、彼が就職の當時にあらしめば、我復た何をか云はん。されど滿一箇年を經過したる後に於て、何等實行したる事に就て言及する所なきは、洵に遺憾千萬であると云ひしは、適評であらう。

カンブレーの大敗北は如何。潜航艇はドーヴァー海峽迄も現はれて來るではないか。飛行機の倫敦襲擊は日一日よりも頻繁となつて居るではないか。軍需品製造所の罷業同盟は、動もすれば豫定の計畫を狂はしむるではないか。船舶の如きも失ふ所は豫算以上にして、新造する所は豫定に達せぬではないか。素より悉く皆なロイド●ジョージの失敗と云ふ譯ではないが、アスキスをして今日に在らしめば更に其の失敗は多かつたかも知れぬ。唯だ世人がアスキスを以て無能視し、ロイド●ジョージを以て萬能視としたるものが、今日に於ては聊か其惑を解くに至りたりと思ふ。

十 兩雄の演說

アスキスは理智の人である。最も安全の人である。安全第一は彼の要訣である。其の議會に於ける演說は天下一品である。一言半句の冗語もなく、贅辭もない。精鍊簡練、其の議論は明快にして水晶の如くである。但だ併せて水晶の如く冷やかなのが其の缺點である。ロイド●ジョージに至つては、演說が殆んど會話體であり、而して機智あり、頓才あり、熱あり、情あり、議會の討論家としてはアスキスに及ばざるも、演壇の人としては天下無敵である。一度び彼の演說を聞けば、何時の間にか彼に引きつけられて了ふ感じがする。

彼は言論の爲めに屢々言禍を招いて居る。併し禍を轉じて福となすの手段に至つては、更に巧妙である。例へば彼がヴェルサイユに聯合軍の高等軍事本部を設くる事に就き、其の申譯として、巴里に於て、從來聯合諸國の歩調の一致せざるを攻擊し。爲めに英國に於ても頗る物議を惹起し、彼は前内閣の措置を攻擊したのみならず、閣僚の一人としての彼自らを攻擊したるなりとの說行はれ。斯の如き不謹愼の言論を、一國の首相たるものが爲すべきものにあらずとの非難多かりしに拘はらず。彼一度び議會に出で、予が斯の如く過激の言論を逞くしたるは、故らに聯合諸國——英國を加へて——の注意を惹起し、之を猛省して、改善の途を講ぜしめんが爲めに外ならずと云ひ。自ら飛車に出で、反對者の口を箝した。是は一例である。

更にサー●ウイリアム●ロバートソンの參謀總長辭任一件の如き、アスキスが其の顛末を質問するや、彼は之に答へて、予は敵國を利するが如き軍機の秘密に就て、質問せらるゝを欲せずと云ひしや。アスキスは直ちに起立し、予未だ曾つて斯の如き質問を試みたるとなしと云ひ。議會は何れもアスキスに同情して、大喝采をなし、彼の言辭に不滿を表したるを見るや、機敏なる彼は、直ちに之を辯明し去りぬ。

而して次回に於ては、アスキスの質問したる以上の事まで演說し、前回に於て失ひたる人氣を忽ち恢復し。アスキスが更に根掘り葉掘り質問を試むるや、議員の或者に至りては、斯る質問は裁判所ではあらぬぞ、左樣な詰問は無用なりと叫ばしむるに至り。主客地を替へ、アスキスをして自ら不利なるを覺らしめ、急にその論鋒を轉せしむるに至りたるが如き、洵に著明なる例である。彼が如何に失敗を轉じて、成功となすの伎倆を有するかは、此れでも推察せらるゝであらう。

十一 新聞持主と閣僚

更に近き一例を擧げて見よう。ジョージの現内閣には、三人の大なる新聞持主の閣員がある。尤もその一人は閣外にあつて、内閣には列せぬが、閣員同樣の位地を占めて居るもので、即ち所謂るノースクリツフ卿である。此事に就ては、議會に於ても頗る議論の種となり、此頃軍事内閣員に入りたりとの電報あるチエムボレンの如き、最も之に對して關心したる一人である。

アスキスが新聞の變遷を論じ、從來の新聞は、有力なる記者が吾が信ずる所の意見を、隨意に開陳したるものなれども、今は或るトラストありて、或る意志が之を支配し、前にも後にも右にも左にも、其の意志に依て隨意に動かし、所謂る輿論を製造するものとなれりと云ふや。ロイド●ジョージは之に答へて、洵にその通りであるが、併しトラストはノースクリツフのみのトラストではない、他に亦た有力なるものがある。それはカドバリ●トラスト及びマンチエスター●トラストである。是等は何れも有力なるトラストである。而して予も亦た新聞より攻擊せらるゝ一事に於ては、誰にも讓りて居らぬと云つて居る。是はアスキスに向つて、ノースクリツフの諸新聞が俺に味方して汝を攻擊したとて何の不思議もないではないか、汝に味方したる『デーリー●ニユース』や『マンチエスター●ガーデアン』は、常に俺を攻擊して居るではないかとの意味であらう。

實はノースクリツフの新聞以外、『デーリー●クロニクル』の如きは、最も熱心なるジョージの擁護黨であるが、之に反し『デーリー●ニユース』『ウエストミニスター●ガゼツト』の如きは、アスキス派と云つてもよからう、或はロイド●ジョージ嫌ひの爲めに、アスキスを贊成するか、若くはアスキスを贊成する爲めに、ロイド●ジョージを嫌ふか、新聞相互の喧嘩が原で、政治家相互の喧嘩となつて居るか、政治家相互の喧嘩が原で、新聞相互の喧嘩となつて居るか。其は吾人の知る所ではないが、何にしても擧國一致とは云ひつゝも、英國の政界には、自から二個の潮流を分明に看取することが出來る。

十二 好縁乎惡縁乎

アスキスの一昨年の冬退職するや、自由黨は直ちに彼を首領としての信任決議を宣明し、爾來自由黨の運用機關は、全くアスキス一味の手裡に握られて居る。若し黨派の關係より云へば、ロイド●ジョージは、其の故郷たる威爾斯の自由黨を統率する丈にて、自由黨内には立脚の地を持たぬ。されば彼の立脚地は、選擧區よりも輿論である、街頭の人氣である。而して其の泉源は、云ふ迄もなく新聞である。即ち彼の立脚地を煎じ詰むれば、新聞である。而して其の新聞は概して●ノースクリツフ一派のものである。されば●ロイド●ジョージと新聞との關係は、大隈内閣の當時以上と云はねばなるまい。

此事に就て面白き話がある。●アスキス辭職の際に、新舊兩首相の間に、極めて機密なる意見が取換された、此事は兩人以外には、何樣でも知らぬ事である。然るに何時の間にやら、『タイムス』にありく〜と暴露せられた。アスキスが漏らさざるは勿論である。さればジヨージに質すに、彼も決して漏らさぬと斷言した。『タイムス』は誰より之を聞きたる乎●洵に面妖である。乃ちジョージと新聞の如何なる關係かは、此の一事でも推察せらるゝではない乎、是れ惡縁乎、將た好縁乎。

十三 新聞の時代

英國の全體を見渡せば、愛蘭は全く別物と見、其他に就て云へば、平和論者も決して尠なくない。極端なる平和論者ベルトランド●ラツセル、ポンソンビー若くはヂツキンソン等の如き、或は勞働黨のスノーデン、ラムセー●マクドナルドの如きは姑く措き、昨年の冬『デイリー●テレグラフ』に投書して一世を驚かしたる、上院に於ける前統一黨首領ランスダウン卿の講和意見の如き、恐らくは貴族階級、土地所有者階級、資本家階級等の少なからざる意見を代表したるものであらう。

今日に於て、徹底的に戰爭を主張するものは、新聞としてはノースクリツフの一派、政治家としてはロイド●ジョージ一派である。そこで議論が極所に至る毎に、ロイド●ジョージが何人も予の位地に取て代らんとする人は、遠慮なく不信任案を提出して、取て代るべしと云ひ。時も之を以て反對者を壓倒して居るのは、單に威嚇と云ふ譯のみでもあるまい。

今日に於て、聯合軍の戰爭の生命は、英國に於けるロイド●ジョージ、佛國に於けるクレマンソーである。此の兩人の内閣の倒壞したる後には、如何なる變化を來すかは、容易に豫說することが出來ぬ。而して此のロイド●ジョージの背後に新聞界の巨人ノースクリツフある事も、亦た看過することは出來ぬ。ロイド●ジョージを今日あらしめたるも、ノースクリツフの新聞である、併し其の累を爲すものも亦た、ノースクリツフの新聞である。累が多きか、功が多きかは、寧ろ今後の問題であらう。要するに新聞あつて以來、未だ英國の現在の如く、新聞の勢力の偉大なる時代はあるまい。(完)

鮮滿在郷軍人會に望む(四)

在鄕軍人會理事 永沼中將講演

▲「良兵即良民」 從前軍隊教育としては●精神を主眼として居つたが日露戰役後は、主義が普及されて、現役の際は素より滿期後に於ける在鄕軍人の心得方に就いても能く教へる樣になつて來た。以前は兵隊上りと云つて二年か三年軍隊に居つて鄕里に歸ると無駄[illegible]唱へて、無爲徒食だらく〜して居る者が多かつたが兵隊上りと云ふと怠惰者と見做されて居つたが、昨今に於ては斯かる弊は全然無いのみならず、在鄕軍人は軍隊に於て鍛錬されたる精神及び旺盛なる體力を以て地方の事業の上に大いに發展して來た。即ち地方の實業方面若くは自治の方面に軍隊で養はれたる精神と體力とを發揮し來つた。斯くの如く在鄕軍人各個の素質が向上し一方地方の事業に貢獻する所と相俟つて軍人會其のものが近時

▲異常の發達を遂げて居る、故に今日に在りては在鄕軍人會の發達せざる地方は地方其のものが振はないのである、即ち在鄕軍人會の發達と地方の發達とは正比例するに至つた、今までは地方の官民等は在鄕軍人會とは何んのであるか、兵隊上りが集つて劍術をしたり射擊をしたり何か話を聽いたり軍事に關係ないものには沒交渉のものであると言つて殆んど門外漢をきめ込んで、何等世話をやかなかつたのみならず寧ろ邪魔物扱にして居た地方の人々達までも地方の發達と軍人會の發達とが正比例して居る事實の證明を見て之は打棄てゝ置く可きものではない、軍人會は全く軍人會のものであると思うて居たが之は

▲地方の軍人會であらねばならぬと云ふ事に氣が附いて今迄傍觀をして居た地方の人達も熱心に世話をやき始めた、例へば大商店に居る番頭が偶々在鄕軍人で會合のある時は今日は在鄕軍人會の會合があるから一寸お暇を下さいと言つても主人は良い顏をしなかつた。所が此の頃は會合がある日は主人の方からお前の仕事は他の者にさせるから、行つて來いと云ふ樣になつて來た、斯樣に一般が軍人會の趣旨を了解し、地方の官公吏も種々便宜を與へる樣になつて來たのである、地方の人も其の地方の榮枯盛衰が在鄕軍人のやり方如何、在鄕軍人會の

▲善惡に重大な關係のある事が事實に於て證明されて來たから之は打捨てゝ置けないと悟る樣になつた。

ホール夫人(下)

安藤文郎

◎一年の後該生徒は女子高等普通學校に入つた、余は同時に京城に轉任することゝなつた。余は思つた、教育者もかゝる同情かゝる熱心あつて初めて成功するのではないかと。夫人は一方から見れば嫌がらるゝ程推しが強く用かけたがその行爲は[illegible]に朝鮮人の及ばぬ所があつた、朝鮮に於ける女子が夫人に教上げられたのは實に多いのである。

◎夫人は不屈として斯業に從事して居た夫人は盲啞者を救はんとした許りでなく、朝鮮人の間に女醫、看護婦を養成し婦人として相當の職業に從はしめやうと盡力したのは[illegible]に多大なものであつた。夫人の到る處こ活動が伴はれた。今年女子高等普通學校の卒業生が總督府から内地に醫業を修むる爲め留學を命ぜられたが余がこの報告をする人にした處がその喜びは[illegible]に非常なものであつたのみならず列席の内外人は夫人の爲に非常に祝つてくれた。夫人の言動は稍もすれば過激なこともあつた。然し愛情あり同情ある夫人の行動は鮮婦人を從はしめたのみならず內地人も大に喜んで居たのである。總督府の施設についてもよく了解し日本に對する誤解は毫もなく出來得る丈け總督政治の爲に盡さうとしたのであつた。これが爲め彼女は他の米人の誤解を招いたことも一再でなかつたのである。大正四年であつたらうか夫人の在鮮廿五年祝賀會が平壤で開かれた。この時の鮮人の感謝その物であつた。余も又直接彼女に祝辭した一人であつた。

◎在鮮廿五年から僅かに廿八年となる其間何を語るか、夫人はこの間にその身を犧牲にして鮮人の爲に盡したのである、夫人は米人である而して夫君は英人であつたが不幸にして死なれた。夫たるホール氏は[illegible]で鮮人の爲めに盡したのであつたが病氣の爲めに死んだ、夫人は大いに悲しんだが偉なる哉夫君の業を繼がんが爲め米國に歸り醫學を修め博士號を得て歸鮮し斯業に從事したのである、その修學當時の事はいかにしてあつたか詳しく聞く機會がなかつたが夫人が昨年京城の東大門婦人病院長となつて來た時に前病院長であるスチユワード夫人が余にホール夫人の修學が當時容易でなかつたと話した、實に感ずべきではないか、既に上席にあつたホール夫人は『こんなものは決して余の誇とならない。余の仕事は鮮人を救ひ、鮮婦人の間に醫業に關係ある職業を與ふるやうにすることが第一のものである』といはれた事を見て更に夫人に敬服せざるを得なかつたのである。

◎余が當地に轉任を命ぜらるゝや夫人に別れを告ぐべく病院に行つた、夫人は丁度風邪の氣味で床について居つた、余は非常に名殘であつた爲め多少の別れを告げやうと思つた處が少し待つてくれ『逢はせたい人がある』といふから誰かと思つたら余が卒業させて教へた女子高等普通學校の卒業生であつた夫人はこの女子を長谷町の某學校の醫務所に入れやうとして居るのであつたそれ許りではない余の前任校の卒業生中この希望者がないかあれば是非入れるやうに校長にいつてくれとの依頼であつた。余は夫人が『國の關係』までこのやうな熱心すべき態度に益々敬服したのである、余が翌日上京した出發するや、夫人は病を推して余を見送つてくれた。今余は夫人を此地に、送り度い無量いう感である。夫人には一男一女あつたが女のマリヤは二歳の時に死んでその形見か平壤慈惠病院に名殘りを留めて居る男は目下國にあつて大學を卒業したさか、今度の歸國も愛兒の側に行く爲めであらう願はくは健全なれ

(四月二十七日大田にて)

京日詩壇

過舊友　森下半狂

少年一別在天涯。把臂今宵奈白髮。何看稜稜存氣節。詳歌南海健兒詩。

評曰　槃節而歌、有拂珊瑚觀六蕃之概、余往學詩于槐南先生、宮崎晴瀾宇田滄溟亦在門、其所作詩共成一種新聲、同人相呼曰土佐調、屈指將二十餘年、不堪懷舊之情也。

ボイラーノ汽罐ヲ少シモ腐蝕セシメザル

理想的 清罐劑

メキシカン・ボイラー・グラファイト

米國製機械工具材料直輸入商
株式會社 ホーン商會
京城南大門通三(朝鮮銀行西隣)
(電話 長一八二六番)

東京高等工業學校教授 關口八重吉君校閲
森田敬治君著
機械設計工作便覽
▼三六判洋裝總布上製●挿圖無數●紙數約六百頁●正價壹圓四拾錢 郵税八錢
時代の要求ニヨリ生レタル本書ハ著者ガ多年ノ經驗ニ依リ機械學上ノ實地事項ヲ簡單明瞭ニ說明シ中ニモ工場ニ於テ現業者ノ最モ困難トスルせんばんノねじきり或ハみりんぐニ於ケル各種齒車割出等ニ至ツテハ特ニ注意シテ理解シ易ク說明ヲ加ヘ其他機械ノ設計各種齒車ノ計算、刄物ノ燒入燒戻、せんばん、みりんぐニ於ケル工作ヨリ材料强弱、水力、用器畫、數學公式、求積、度量衡等ニ至ル迄大小漏サズ。苟モ機械家ノ好參考、又仕事ノ良師トシテ缺クベカラザルト同時ニ在來ノ著書ニ就テ理解ニ苦メル職工、工業學生、實地家ノ一大寶典也。
東京 本町 博文館

不動產賣却公告
京城府松峴洞及安國洞所在
一 土地 約四千四百八拾壹坪 但數區ニ分割ス
一 右地上建物
右賣却ス買受望ノ者ハ李王職會計課ニ就キ入札人心得契約書案及圖面熟覽ノ上來ル五月二十日正午限入札書ヲ同課ニ差出サルヘシ即時開札ス
大正七年四月
李王職

鮮滿遞信局
物品購買入札
一、電話機、銅線類、水銀、洋紙、式紙類、捨擬
詳細五月二日ノ本府官報ニ在リ

訂再版
八田志津馬先生著
機械工學要覽
クロース表裝袖珍判約六百頁 挿圖約百八十○各種テーブル約百 定價金貳圓參拾錢 送料八錢
設計、運轉、計算の上に起る一切の不便、煩勞、錯誤等は
諸君が、ポケット裡に本書を援る事によつて除かるべし
現代機械工學に關する百般の事項(十四編六百項目)を
最も懇切且可及的簡縮解說せる所に本書の價値は存す
發行所 大阪東區常盤町一 工業評論社
鮮滿大賣捌 京城本町 巖松堂
振替二四五四 電話一二六六番 一三四二

◎鑛業の智識を得んとする者は見よ
鑛業講習錄 新學期開講入學の絶好期
本校は最新式の通信教授を以て鑛業に關する一般的智識を授け斯業の發展を計り又人物を養成して斯界に就職紹介す
●規則書ハ郵券四錢ニテ送呈
大日本通信礦山學校朝鮮支部

新溪地方金融組合登記事項中出資ノ總口數四拾九口拂込ミタル出資ノ總額貳千七百貳拾六圓六拾參錢ト變更ス
右大正七年四月貳拾九日登記
海州地方法院新溪出張所

最新刊
動物學提要 飯島魁編 定價拾貳圓
書名 著者 價
國史の研究各論の部 黒板勝美 三、五〇
春 島崎藤村 一、六〇
人生と世 [illegible] 九〇
代表的日本主義講話 [illegible] 一、三〇
地理教育の方法論 西田與四郎 八五
大英國と國際聯合本縮刷 芝人冠 一、三〇
カイゼル陛下 縮刷 樋口麗陽 七〇
新版 朝鮮地理 田淵友彦 定價貳圓
日本征服鐵砲彈 樋口麗陽 一、五〇
墜されてから 松宮健譯 一、〇〇
庵珍話 [illegible] 七〇
誰にも分る姓名ノ判斷 海老名 一、〇〇
忘がば廻れ江 [illegible] 一、〇〇
トルストイ書簡集 石田三治譯 六〇
これは面白い旅の道ずれ 東道の主人 五〇
新世の中 青柳有美 一、二〇
世界童話集 東洋の巻 松本 一、三〇
中央佛教特別號 現代佛教研究 定價九十五錢
大阪屋號

獨長航潜航艇建造

獨逸は最近一萬哩の航續力を有する潜航艇六隻の建造を完成したるが這は米軍の大輸送を妨害するの目的にて專ら大西洋に使用せらる可しと（倫敦電報）

英佛陣地砲撃猛烈

廿八日夜北方戦線にて間断無くラバーシーよりウールツール森林に至る街道上に榴弾及び野砲弾集中されたるが敵は更にヴオルメジール南方及びロークルの英佛陣地に對し猛烈なる榴弾砲の攻撃を爲せり（倫敦電報）

獨、露國汽船に發砲

獨逸は芬蘭の要塞に兵員を配備しヘルシングフオルス、クロンスタツト行露國汽船に發砲したり勞兵會は右に對し獨逸政府に抗議せり（莫斯科電報）

珍田駐英大使演説

英國駐劄大使珍田捨巳氏はブライトンに於ける日本美術品展覧會開會式に臨みて一場の演説を試みて曰く『日本は聯合國終局の勝利を確信すると共に現戦爭に對し従來に比し更に果敢に其最上の努力を傾注する事に決したり』と（倫敦電報）

獨逸露國を威嚇す

獨逸は西伯利に於ける自國俘虜の釋放を求むる爲め露國に最後の通牒を送らんとする意向あり獨逸は右交換條件として露兵俘虜中傷病兵而已の釋放に同意し露國若し同意せざれば都を占領す可しと脅迫せりと（羅馬電報）

露獨土代表者會見

四月廿六日午後三時獨逸土耳古兩大使は露國共和國の勞兵會中央執行委員に會見しフオンミルバツハ伯は獨逸を代表し、メヌルハリルベー氏は土耳古を代表して親任状及び紹介状を提出せり右會見は二時間に亙り種々意見の交換行はれ双方共三國々民の相互的友誼状態は恢復せらる可く三國の平和の脅威たらんとするものは凡て是れを避けざる可らずとの希望を披瀝せり（莫斯科電報）

張氏の三省巡閲使

張作霖氏の三省巡閲使は既に内定し近く發表さる可く其所在地は長春なる可しとの説あり（北京特電）

湖南廣西連絡絶つ

湖南の南軍は張懐芝軍の弛廢に乘じ兵三十營を以て襲撃して輯縣を取り次いで醴陵を占領し湖南廣西の連絡を絶てり（北京特電）

土匪猖獗

山東土匪猖獗を極め爲に張懐芝軍は湖南より歸還せしむるに至らんとの報あり（北京特電）

共通法協議

司法省にては一日午前十時より會議室にて參事官會議を開き豊島法務局長等列席共通法施行に關し協議せり（東京特電）

辭令

一日左記の通り辭令あり（東京特電）

工學博士 古市公威
法學博士 平沼騏一郎
臨時教育會議委員被仰付

鮮銀副總裁候補者内定

朝鮮銀行法改正の結果新設の副總裁の候補者物色中なりしが最近愈々大藏省專賣局長官嘉納徳三郎氏に内定したるやにて近々任命發表を見る筈也尚一時副總裁候補者たらんとの風說ありし同行理事三島太郎氏は朝鮮殖産銀行の成立を機とし同行頭取に任命せられ朝鮮銀行理事を兼ぬる事となる可しと噂さる（東京特電）

定例閣議

一日定例閣議に於て朝鮮師團營繕工事材料購入に關する件決定せり（東京特電）

輸出綿布滑動

[illegible]綿絲は愈々不振に陥れるに際し[illegible]のみならず引續き或は錢追貨車の不足或は新規作付の良好等悲材[illegible]ふ新記錄の暴落を演じ此邊安値[illegible]爲めに稍輸出方面の買氣を誘致せ[illegible]内地向共に品薄乍ら相場の亂調が少からず商賦を妨げつゝあるもの[illegible]

[illegible]倶すべき船舶十五隻重量噸十二萬六千餘噸中既成船は盛顯丸、東福丸、第二吉田丸、第[illegible]商賦も近く成立するに至るべく其數量等は勿論未定なるも多分二千[illegible]缺乏の爲め一時非常に悲觀せられたる我造船界も再び活況を呈す[illegible]なりし鑑額に鑑みるときは餘程の努力の爲さしる限り期限通りに全[illegible]

支那記者團一行

日本觀光の支那記者團一行は一日午後宮島より下關に驛著直に山陽ホテルに入り不破市長商業會議所其他關門記者團主催の同ホテルに於ける歡迎會に臨み翌二日午前門司に渡り八幡製鐵所明治專門學校等を視察し同夜關釜連絡船にて朝鮮經由歸國の筈なりと（門司特電）

琿春觀光團一行

琿春縣内鮮人有志者より成る京城觀光團三十五名は一日朝雄基より來清直に羅南へ赴き兵營參觀の上同日夕歸清同八時平安丸にて元山へ向け出發せり（清津特電）

米對露發展 勘察加問題

西比利亞に於ける米國の活動は共に著しき發展を見つゝあるもの、如し彼の勞農政府が約一千萬留を投じて西部西伯利亞のウヒムスカヤ及びウヤツスカヤ兩縣を中心とした新鐵道を急設するに決し近々起工すべしとの説が果して事實なりとせば其背後に米國の資力上の援助あるは疑ふべからず

▲米對露政策 又露米兩國の經濟上の發展及び精神上の密接なる關係を增進する目的の下に鹿大なる資金を以て設立を計畫せられつゝある浦鹽の露米協會の如き將た又米國大使が獨り露國に踏止まりて所謂過激派政府と頻りに接觸を計りつゝあるが如きは孰れも米國の對露政策の反影として輕々に看過すべからざるものなるが米國の飛躍は單に是れのみに止まらず假然北米アラスカに强度の無線電信局を新設し之に依りて華盛頓莫斯科間の直接通信を交換するの計畫あるを傳ふるに至れり

▲米國と勘察加 此計畫の遂行に依りて將來必然起り來る可きは勘察加問題なるが既に昨秋一度米國の勘察加買收說傳へられ米國政府が之を打消したる爲め爾來此問題は再燃せざりしと雖も米國政府が勘察加問題を重要視し深甚の注意を拂ひて常に監視的態度を持し居りたるは想像以上にして約一箇月以前米國政府の機關紙が若し北米アラスカを脅威して危殆に陥らしむる如きことありとせば假令支那なりと雖も斷じて寛假する能はざるにあらずと聲明したるが如き要するにアラスカの防備上他國をして勘察加に手を觸れざらしめんとするの豫防線に外ならず

▲勘察加の鑛業 東部西伯利亞及び勘察加に在る無數の金鑛は現に米國人が盛に之を採掘しつゝあり過般西伯利亞の過激派政府が人を派して勘察加の調査を爲さしめたる際米國人は軍事上の理由に依りて入國するを拒絶したることあり米國側は金鑛採掘は米國政府と露國政府との間に協約ありたるもの、如き口吻を示せるも事實は米國人が常該官吏に賄賂して採掘しつゝあるものにして何等政府間に協約あるに非ずと稱せらる

▲國防と勘察加 勘察加の漁業は日露戰爭前迄は僅に百萬圓内外に過ぎざりしが日露戰後非常に收獲を增し今日は之を五六千萬圓の收獲に達せしむること敢て難事にあらず之を國防上より觀ればアラスカの防備上米國が之を重要視すると同じく我國に取りても國防上重大なる關係あり之を第三國の勢力圏内に置く如きは絶對に防止せざるべからず從つて勘察加問題は特に深甚なる注意を拂ふの必要あるべしと某事情通は語れり

露國の政變如何 反政府運動の勃發か＝某露國通談＝

ストックホルム電報は露國新政府の組織を報じ前皇太子たるアレクセイ、ニコライウイッチ太公は露國皇帝の位に即きハミエル、アレクサンドロウキッチ太公攝政たるの宣言書發表されたりと傳へ來れるが右に付某露國通は曰く現下の歐洲電報中瑞典ストックホルム發は比較的信を置き易し然もニコライウキッチ太公の皇帝たりハミエル、アレクサンドロウキッチ太公の攝政就任の宣言書發表は如何あらんアレクセイ太公は昨年革命以來外國に身を隱しゐたる筈にて今日突として都に姿を現はし而して反過激派運動に奔走せりとは常識を以て信じ難し然れども由來突飛は露國の常たり▲昨春の革命の如きケレンスキー政府倒壞の如き豫想外の事實が屢々吾人を驚ろかしたるより見れば今回の事も亦全然事實無根なるべしとは斷じ難きに似たり唯過激派政府の根柢は昨秋瓦解せるケレンスキー政府に比し鞏固にして勢力あるは儼たる事實に付今日直ちに前皇太子の反對運動により覆滅せる如き事はあり得べからざるべく又た今日露國の國情が帝政の出現を許すや否やも大疑問なり事情如斯に付詳細は後報を待つて論ずる外なきも多分前皇太子を押し立てレーニン政府を倒さんとする運動が一部に起れるか若しくは起らんとせしに非らざるか恐らくその事實の誇大に傳へられしものと見るの外なき如し

公設市場 （一）實現と障碍

既報の如く京城に於ける公設市場設置問題は其後著々進捗し商業會議所に於ても之が研究の歩を進めつゝあるが一方京城府及び京畿道廳に於ても研究中にして會議所の調査材料等をも參酌し以て之が▲計畫に餘念なきもの、如く要するに孰れの公共團體にて市場統一を實現するにもせよ三十萬府民の利益の爲めに之れが統一期の一日も速かに來らん事を希望せざるを得ず今や商業會議所の說く所を聞くに本問題は漸次市民一般の注意を喚起し之を決行するの機運著るしく熟し來れるは喜ぶべき現象なると共に會議所は主唱者たる責任の愈々加重せるを感ぜずんば非ず而して公設市場を開く以上は先づ其の實行に際して生ずべき障碍を豫測し之に對する手段を講じ置かざるべからず今▲此等の重なるものを舉ぐれば第一市場其のものに附隨する障碍なるが此の種の障碍を舉げて公設市場經營の不能又は不結果を說き現狀持續を主張するは市場商人の一部なり其等の主張の大様を分類して說明すれば市場は都市の態様に應じ自ら發達すべきものにして故意に之を變更するが如きは却つて弊害ありと爲す觀あり此の說は論者自ら自覺せるや否やを知らずと雖も道は即ち彼の所謂正統學派の說と一致するものにして一部分の無理なるは否むべからざれども之を以て現今の市場問題▲討究の根據とは爲し得べからず何となれば法令は既に將來市場の經營を公共團體の手に收むべき事を既定したる以上之に抵觸する經濟上の議論は其の是非を問はず斷じて排斥すべきものなり假令自由放任の學說が無上のものと假定するも此際之を背定するを許さざる也次に法令の規定なかりしとするも市場の効用に不滿足の點あらば社會は之に向つて改善を要求するの權利あるものなり、然るに京城の市場は彼等同業者間の關係に於ても需要者及び生産者に對する關係に於ても或は價格調節の點に就いても▲改良を要すべき點多々あり且つ現在の市場は豫て交通及び衛生上の施設最も不良にして將來永く此儘に推移せしめ得ざる狀態に在るものなるを以て此種の說は全然其の値なしと謂ふべし

東京取引所臨時休業 新市初會に對し農相の警告

農商務省より全國米穀取引所に對し立會停止を命じたるは當中限即ち四、五月限の停止にして從つて一日より中（六月）先（七月）兩限の立會を開始し得る事となりたるが仲小路農相は取引所に對し三十日更に新市初會が▲不穩當の相場を現出する事あらば更らに必要なる手段を執るべしとの警告を發したる爲め東京取引所仲買人は恐慌の結果同日一同協議の上五月限の解合成立せば相場緩和せらる可しとの意見を纏め一方取引所に向つては臨時休業せられ度き旨を請求したり茲に於て取引所理事も是れに同意する事となり定款第三條に依り一日は臨時休會せり又

▲左記地方取引の一日の新市初會の寄附は外米管理令の適用を見るに至るべきにも拘はらず左の如き奔騰を見るに至れり

桑名（先）二七、五〇（中）二六、九九
新潟（先）二七、一七（中）二六、八七
神戸（先）二六、九〇（中）二六、八六
大阪（先）二六、七七（中）二六、七一

朝鮮殖産銀行法案公布期

朝鮮殖産銀行法案は最近法制局の審査を終了したるを以て近く總督府より制令を以て公布せらる可し該制令公布と同時に創立委員長並に委員の任命、株式の募集等一切の準備を整へ愈々其創立を完成するは九月上旬頃なる可し其内容は資本金壹千萬圓にして其中現在の農工銀行資本金三百萬圓は株式應募の形式にて合併せらるゝものなれば一般公募に附せらるゝは其殘額に對して也營業方針は普通商業銀行と農工銀行との業務を併せ行ふものにして役員は頭取一名理事三名監査役二名位なる可し（東京特電）

技術員採用

臨時土地調査局に於て募集中なりし技術員養成科生徒は最近までの應募一千百名に達し非常の好況を示せしが右の中約三百名を採用する筈にて來る六日より採用試驗を開始する由

原田氏歸東期

入京中の日本郵船専務朝鮮郵船會長原田金之祐氏は日本郵船總會切迫其他要務あるため三日出發歸東する由

本岡事務官講話

入京中の本郷聯隊區管下在郷將校二十七名に對し二日午後二時總督府第二會議室に於て本岡事務官の産業に關する講話ある筈

島田支配人歸京

京城電氣支配人島田乃太郎氏は豫て社用の爲め東上中の處三十日夜歸京せり

清津の鰊大漁

咸北清津近海にては數日前角網に鰊の大漁獲あり魚市場に水揚げせられたるもの約二千尾にして相場も從つて軟弱を呈し大一尾七十錢極小二十錢内外にて取引せられたり（清津）

人事消息

▲諏訪寛太郎氏（大邱典獄） 來る十日より司法省に於て典獄會議開會に付き五月一日附往復廿一日の豫定を以て東京名古屋關西大阪へ出張を命ぜらる
▲平川正義氏（釜山典獄） 同上 東京、京都姫路へ出張を命ぜらる
▲中村伊勢男氏（公州典獄） 同上 東京、長野、新潟、金澤へ出張を命ぜらる
▲ウイリアム、ホーン氏（救世軍少佐） 爪哇へ轉任、三日朝南大門出發の筈
▲石島鎌治郎氏（救世軍大尉） 三日朝南大門發光州へ出發の筈

百鬪百種

米人は時とすると大きな惡戯をやつて世間をアツト云はせる事がある▲近頃反獨熱が高いので獨逸人を見るとポツ〳〵此の手を出して隨分酷いことをやる▲ウイスコンシンの或る都會にシムラーと云ふ獨逸人の先生が居た▲日頃から睨まれて居たが或夜の事三臺の自動車が勢能く先生の邸内に來た▲忽ち其から現はれたのが覆面の壯漢數人矢庭にシムラー先生を擔ぎ上げた▲と思ふとヅドンと自動車の内に投げ込まれてブーツと風の樣に走せ去つた▲オヤ〳〵と思つて居る内に何處を何ふ引き廻されこづき廻されたか分らぬ夢の中に再び先生の邸内に歸つて來た▲フト氣が付くと最う先生は自宅の玄關先に投げ出されてころがされて居た▲家人が驚いて顏を見るとコールタールで眞黒著物は寢衣に著換へさせられて虫の息▲早速警官が出張して種々訊問を始めると先生狐にでもつまゝれた樣な姿で▲總て夢中で人相も覺へませんとより外は一切知らず▲惡戯もこゝに至るとチト御念が入り過ぎる

法人登記

市邊里地方金融組合登記事項中
一、出資總口數ヲ參百四口拂込ミタル出資總額ヲ四百圓ト變更ス
右大正七年四月貳拾九日登記
海州地方法院金川出張所

拂下公告

一、紙屑（大正七年度中ノ分）（此數量約貳萬貫）
買受希望者ハ當部經理部門前掲示ヲ見ヨ
朝鮮憲兵隊司令部

電話口消毒器

肺病其他傳染病豫防
大正六年市衛生試驗所有効證明
遞信省認可（說明書進呈）
專賣特許 電話口消毒器
發賣元 山陽電氣商會 電話一四二五番

朝鮮郵船株式會社第拾貳回決算報告

自大正六年十月一日至大正七年三月三十一日

借方之部

拂込未濟株金	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇
船舶代價	七四〇、二二〇・三〇
船舶購入代價假拂	一五〇、三九二・〇二
小蒸汽船代價	一九六・四三
地所建物代價	七二、七〇八・〇八
貯藏品	八六、二四九・四九
什器	四九〇・二五
保證金代用有價證券	一三、九七〇・〇〇
未經過保險料	五三、〇五六・一三
貸金勘定	九、六〇〇・〇〇
銀行勘定	九二四、四七九・一八
金銀勘定	一四五・五二
各支店勘定	一五八、〇〇〇・〇二
政府勘定	二六四、三四九・四七
合計	三、九七三、八五六・九一

貸方之部

株金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
準備積立金	四六、八二〇・〇〇
船舶大修繕積立金	二三五、九二四・七八
別途積立金	二〇〇、〇〇〇・〇〇
配當平均準備積立金	三五、〇〇〇・〇〇
預り金勘定	三五、六〇七・二三
貯蓄石炭代未拂勘定	一七、五四六・九〇
仕拂未濟配當金	二三・七五
決算未濟勘定	一五六、四六九・五八
前期繰越金	四八、八七八・八九
當期利益金	一九七、五八五・七八
合計	三、九七三、八五六・九一

利益金處分

前期繰越金	四八、八七八・八九
當期利益金	一九七、五八五・七八
合計	二四六、四六四・六七
内	
準備積立金	一〇、〇〇〇・〇〇
別途積立金	五〇、〇〇〇・〇〇
役員賞與金	一〇、〇〇〇・〇〇
海陸職員臨時特別手當金	一五、三三四・三九
配當平均準備積立金	三五、〇〇〇・〇〇
配當金（年七朱）	五二、五〇〇・〇〇
臨時特別配當金（年三朱）	二二、五〇〇・〇〇
次期へ繰越金	五一、一三〇・二八

右之通候也
大正七年四月三十日

取締役會長 原田金之祐
專務取締役 吉田秀次郎
取締役 大池忠助
取締役 堀力太郎
取締役 上谷續
監査役 山口太兵衞
監査役 池尾芳藏
相談役男爵 近藤廉平

右調査候處相違無之候也

追テ取締役監査役全員任期滿了ニ付改選ノ結果取締役ニハ原田金之祐氏松崎時勉氏上谷續氏監査役ニハ山口太兵衞氏池尾芳藏氏當選シ同定款第二十五條ニ據リ原田金之祐氏取締役會長ニ就任シ取締役ノ決議ニ據リ松崎時勉氏專務取締役ニ當選シ相談役ニ大池忠助氏ヲ囑員セリ

中元源五郎氏は本日限り弊社と一切關係無之候に付今後は總て左記へ御引合被下度願上候
大正七年四月廿七日
東京市麴町區有樂町一丁目一番地
バブコツク、エンド、ウヰルコツクス株式會社

今般バブコツク、エンド、ウヰルコツクス會社東京總支店と合議の結果本日限り退社仕り候此段謹告候也
四月二十八日
中元源五郎

朝鮮及滿洲
五月號出づ 第百三十一號 毎月一回一日發行 一部金二十錢、送料一錢五厘 半ヶ年一圓八十錢
▲問題となりし李王職の眞相……一記者
◎家の興亡と邦人の植民思想……下村臺灣民政長官
◎大陸的帝國主義と植民的帝國主義……篠崎嘉郎
◎露國の現狀を論じて國民に警告す……高柳陸軍少將
◎國民性より觀たる露國の將來……片山早大教授
◎地理學上より觀たる南滿洲鐵道……滿鐵地質課長 木戸理學士
◎支那の鐵道……在北京 粕木生
◎滿洲開發と農業思想改善……松木
◎滿洲の商權と貨幣問題……泰山
◎東京名士印象……一記者
◎朝鮮の産業發展策……米山東拓課長
▲露都雜感……鮮銀司事 股野琢三
▲獨逸雜感……工藤京城婦人病院長
◎東京通信……東京支局記者
◎東京の貧民……東京 難波可水
◎文藝消息
▲北支那より南支那へ……釋尾旭邦
◎余の見たる朝鮮の前途……片山理事
◎滿洲に於ける鑛業……奉天支局記者
◎支那鑛業條例……奉天支局記者
◎朝鮮鑛業の好望……中町鮮銀支店長
▲滿蒙實見記……泰山生
◎顏と背鋒上より見たる大連の紳士……一記者
◎にぎやかな都の春……須賀野
▲酒と女の上より見たる京城の名士諸君……ヒマラヤ山人
◎女子大學出の人々……一寸法師
◎京城に於ける袴の女……七草生
◎負傷の四ヶ月……
◎浮草を追ふ女……梁吟生
◎滿妻春枝の日記……長城生
▲臺所のぞき……
▲軍司令部の消息 ▲辯護士界の消息 ▲南鮮めぐり ▲滿鮮事業だより ▲滿鮮回答 ▲文藝欄
發行所 京城旭町二丁目 朝鮮及滿洲社 電話一二五〇番 振替京城一三二

各種鑛物（分析依賴）に應ず
金銀精製
新發見鑛區買入
京城旭町二丁目七 中村分析所 電話一五一七

日鮮會話精通
朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著
袖珍總クロース頒美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の内容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
二、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渴望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に備へて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町二丁目 大阪屋號

[illegible]て御伽講演を試みし處多大の好評を博したるが一日は又南山幼稚園の請ひにより一場[illegible]

◇新緑　—貞洞にて一日午後撮影—

中央停車場問題

京城市民多年の要望たりし問題の南大門驛新築は愈々今秋を以て起工さる可く目下滿鐵京城管理局に於て研究設計中なる事は既報の如し而して今市民と最も交渉深き新築停車場に對する各方面の希望を聞く

▼京城驛と改稱したい　電氣仕掛て各室の旅客に音聲を傳へる裝置も必要と思ふ

南大門驛長　一ノ瀨武内氏

朝鮮鐵道の北玄關新義州停車場にしろ南玄關たる釜山停車場の船車連絡にしろ孰れも立派なものである、朝鮮ホテルの建築に至つては外來客は東洋一と稱して居る然るに首都

◆京城の表玄關　南大門驛が彼樣な貧弱な建物であると云ふ事は吾〻人共に遺憾とした事であつたが愈々新築と決定して見れば希望も多々あるが現在の場所は地域が狹小で大建築を起すには不適當であるそれかと云つて之れを龍山に移すと云ふ事は時勢を無視した話である今日は高架線を以て停車場を市街の中央にさへ持つて行く時代であるに之を遠隔の地に移す事は市民の便宜では無い然らば結局

◆現在の地域に　於て其方法を考へねばならぬ私一個の考へとしては横に擴げる事が出來ぬとすれば縱に延びるより外に方法は無いそこで先づ建物は三階建にして下を事務室二階を旅客扱所三階を喫茶店其他と區すれば現在の樣に事務所の次ぎに旅客扱所其次ぎに小荷物と云ふ風に横へ擴がらずして建てる事が出來る旅客を直ちに二階へ導く爲めには前面の土地を二階の高さ迄即ち約十一尺位の地揚げをしなければならぬ詰り前面から見れば二階建後面から見れば三階建となる斯樣にすれば旅客は二階から直ちに陸橋（跨線橋）を通つて

◆降れば陸橋を　昇る世話丈けは省ける譯である待合所は一、二、三等を區別するは勿論婦人待合室も設け度い、貨物はエレベーターで揚げ下しをする之れも手荷物の發と著、郵便物の發と著で少くも四個は要る冬の採暖設備はスチームブイパにし、それからこれは内地でも未だ設けられた驛は無いが旅客の出入する場所は待合室、喫茶店は云ふに及ばず便所に至る迄一個の喇叭管から分れたパイプを通じて置いて發車前には

◆其喇叭の口に　立つて『八時五十分釜山行！』と驛員が呼べば各室に其音聲を傳へて旅客の注意を促がす電氣仕掛の裝置も拵へ度いと思ふ、線路は京義線、京釜線及び京仁京元兩線の發著を別々にし貨物線等も完備し度いが然し此線路丈けでも四百萬圓の經費が無ければ充分には出來ぬからそれは後廻しとしても建物を先にしなければならぬそして驛は

◆現在の三倍位　にはなると思ふ又京城の玄關たるに相應した建築の美觀と云ふ事は勿論の事であるが驛名は從來の南大門驛では適當で無いと考へるから之れも東京驛同樣京城驛と改稱する事を希望する。

◉光の巷へ明るい都會へと　華かな空氣に憧がれて無分別に飛出して來る朝鮮婦人

楊柳の嫩葉が春雨に烟つて、垂若しい結氷の天地から遁つて譯もなく郊外を彷徨したいやうになつて來た此の頃、家出人が日増しに殖ねて來た、此の家出人の中には

◆朝鮮婦人が　著しく多く夫れも娘ではなく多くは人妻である夫れも京城のやうな都會地から他の地方に出て行く者は尠くて田舍から市街地指して落ちて來るものである、元來朝鮮の舊習慣として一度他家に嫁しづいて夫をもつた婦人はたとへ如何樣のことがあつても外の家に再嫁することが出來なかつたのである、長い因襲に囚はれて隱忍屈從してゐた朝鮮婦人も漸やく眠りから醒めたやうに自己の立場、人權といふものを

◆自覺する　やうになつた結果は却つて横しまな見解をつけて自由と放逸とに慣れ其の末意外な暴擧に出づるものが續出して來た爲めに夫を捨て家を棄て果ては物質的の文明の榮華を羨望して自然に市街地指して身を匿すものが多い、殊に市街地に生れた者が家庭の事情で田舍に行つて居るものが一度華美と絢爛とを極めてゐる市街地の空氣に觸れ、貴族の夫人や令孃乃至は妓生などの美しい扮裝を實見した若い女などは矢も楯も耐らぬ虛榮心を挑發されて

◆都會熱に　浮かされ、何とか觸れつけて土臭い田舍の家には歸宅せず、其の儘隱遁の生活に入るものが多く、早くも是等の女喰ひ物とすべく徘徊してゐる所謂浮浪者が宿屋や妓生置屋などにゴロついてゐる、斯かる不逞の徒輩は巧みに其の筋の網目を潜つて旅や富豪の子弟にまでもトリ込んでゐる、悠うした手段の餌にされる惡れな婦人も田舍出の者に多いといふことである、先づ家出する婦人の主な原因は家庭の不和、虛榮の迷夢、夫れに昨今

◆物價騰貴　から生活難などであるが、個には情夫と驅落ちして來るものや、僅かの腹立紛れから譯もなく家を飛び出した妻女が多く總じて低級な無教育者が大部分を占めてゐるといふことである

◉喇嘛僧一行の解散式

▽大連市年會に舉行　一日午前八時播磨町大陸青年會武術道場に於て喇嘛觀光團解散式を行ふ、在連各宗僧侶及び有志者參列の上喇嘛僧一行は設けの佛壇に向ひ讀經あり金子雪齋翁日蒙佛教會を代表して挨拶し團長ログソン氏謝辭を述べ丸山大額氏大連佛教會を代表して一場の挨拶あり後萬歲三唱記念撮影を爲し一行は一日夜奉天へ歸還せり（大連特電）

◉徵兵司令官に斬付く　不合格に狂氣したる軍人志願の壯丁

目下熊本縣上益城郡御船町武德殿に於いて執行中なる徵兵檢查所に於いて同郡大島村字大島の壯丁春日精一（二）が長渡九寸の白鞘短刀を揮つて臨場中なる熊本聯隊區司令官下條大佐に斬り附けたる椿事あり精一は尋常高等小學校を卒業後陸軍士官を熱望して熊本陸軍地方幼年學校の入學試驗を受けたるも合格せず某中學に入學し第一學年を修業したる上再び幼年學校の入學試驗を受けたるも又もや不合格となりたるより絕望の極精神に異狀を來たし往々危險の行動ありし處本年恰も徵兵適齡に達したるより二十八日同村助役に伴はれ同じく村内の適齡者數名と共に前記の檢查所たる武德殿に到り身體檢查を終へたる後午後一時頃下條司令官より丙種第二國民兵役たる旨を言渡されたるに精一は突然匿し持ちたる短刀を引拔き不意に司令官に斬つて掛りたるに司令官は危く身をかはして精一を取押へたるが荒れ狂ふ精一は司令官の手を潛りて又もや斬つて掛らんとし場内騷然として混雜を呈したるも監督の爲め出張せる巡查の爲め逮捕されたり

◉開城の桃は今が見頃

▽三十日の雨に誘はれて最う咲き初めた

開城鐵道公園の桃は三十日頃の春雨に誘はれてこゝ二三日が最も見頃なるべし、丘上にたゝずみつゝ桃の花越しに遠近所に點在する菜の花や新綠滴らんばかりのポプラ、柳の新芽を眺むる風情得も云はれず黃塵萬丈の都を離れて一日の清遊を試みつゝ逝く春を惜むも亦た春の一興たるべきか去つて郊外畦畔や茅屋を綴りつゝ咲きほこる眞つ盛の桃花を尋ぬれば一日の清興は油然として歸るを忘れ眞に桃源の夢に浮世を離れし心地すべく由來開城の桃花は此郊外に其勝を誇るものなるを單に鐵道公園の花にのみあこがれて、此等の勝地を探らざる人多きは吾人の遺憾とする所にして、折角遠來の京城の人士も郊外の勝地に杖を曳き眞の開城の桃を賞せられんことを望むものなり彩霞洞の沿道東小門外の丘陵其他到るところ花に日に綺なるべく紫霞洞、白雲亭扶山洞の幽境また花に賑きたる日には一入の眺なるべし（開城特信）

◉野菜の出廻りが多くなつて來た　珍しい物　筍、たけのこ、蕗、獨活、茄子、などこれからは野菜の世界

時候のよくなるに伴れて新鮮な野菜類が食膳を賑はす樣になつて來た。野菜屋の店頭は日に增し生彩を帶びて與さん方の足を止めさせてゐる、朝鮮人支那人の野菜賣の荷も重さを増して來る。今日

△此頃の野菜物　では筍がよほど出始めてゐる値段は普通一貫目六十錢下關物で九十錢違なり瓜も出始めてゐるが本年は臺灣は蟲害で此方面からの輸入が杜絕して了つて影を見せないが琉球物で一個六錢乃至七錢と云ふ相場、下關物が六錢位であるが之れは頭に少し苦味があつて

△料理屋邊り　では使はぬが素人向にはドンドン用ひられてゐる上物は什うしても西京、大阪、名古屋と云つた處で値段も倍以上で一個十二錢から十五六錢もする茄子は一個四錢六錢を唱へてゐるが溫室物は拇指位なのが一つ八十錢もする

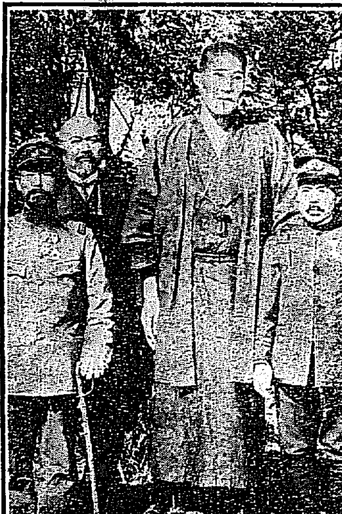
△蕗は內地物　で十五本一把八錢位のところ朝鮮物は二十五本乃至三十本把が十二錢位で買へる、獨活は朝鮮で立派なものが出來るし新鮮な處から內地物七十錢に對して八十錢位の割合である、牛蒡は內地物が全然這入らないので朝鮮物の一人舞臺從つて値も張つて一貫目五十錢位の處之からは

△豆の時節に　なつて來るが今の處莢豌豆が出始めてゐる値段は一貫目普通物で一圓上物は一圓八十錢もする、今最もお壺所で歡迎されてゐるものは何と云つても菠薐草で一貫目十二三錢から十七錢で出盛りである（一日の本町青物店相場）

◉日本一の大男

◇身長六尺八寸　◇體重三十三貫　寫眞が嫌ひ、人と交際が嫌ひの變屈人

宮崎の大男は宮崎縣南那珂郡北方村の石下伊次（四二）と云ふ日本一の大男で身長六尺七寸六分體重三十三貫宅で自宅の緣側で蕎麥など打つて居た處へ支那人の行商がやつて來たのでヒョイと顏を出すと支那人驚くまい事か腰を拔かして『ば化物がー』と叫んだ程の代物、旧來一切人と交際がずで人の言ふ事をおいそれと承知した事のない變屈人が吉松さんと云ふ村長さんの言ふ事だけは素直に聞くので村長さんは何事でも世話をしてやり同人が病氣で苦しんで居た時も市まで一所に連れ出して病院の末醫に診させたが寫眞は其時撮つたもので寫眞を撮らぬと强情を張つたのを一枚だけ撮つて頂戴と漸くの事で納得させたもの大男の背後に居る洋服の老人が吉松村長で五尺七寸の同氏の禿頭の尖がやつと肩に屆いて居るあたり奇觀を呈して居るではないか因に大男は何時も其様な大きな杖に縋なつけて下駄を用ひて居るさうな



◉力士歸京

元氣なのは九州山常の花錦洋風千葉で大潮は相變らず病氣で不元氣高砂、雷の兩部屋力士は既に歸京し二十七日夜及び二十八日朝に亙つて友綱、峰崎、厩皮び出羽の海非筒部屋の順で各力士悉く歸京した先づ出羽の海井筒部屋一行の年寄入間川と

◆大錦は語る『吾々の一行は沼津、名古屋方面から大和路に入り關西地方を重に打つて此間五十七日間興行をしたが、孰れも好景氣ではあつたが雨の多かつたのには閉口した、一行中で特に元氣なのは常の花で其他九州山等も相變らず元氣であるが源氏山は足が悪くて稽古を少しもしなかつた爲め今場所は何うであらうかと思はれるが、大分よくなつたので

◆歸京後から　稽古をすると言つて居る又幕下で非常な元氣な力士は非筒錦洋であるが、彼は身體も愈々大きくなつて實力では三役以下に一人として及ぶ者がない位で今場所の働き振は見物であらう又大錦は一時右の足を痛めたが其後自重したので今ではスッカリ全快したさうである、其他若い者では陸錦や照風が元氣で今場所有望でありさうなが新弟子は餘りなかつたといふ

◆鳳千葉一行　張率者の峰崎は語る『吾々の一行は大阪大錦一行と合同し三月十三日門司を出帆して臺灣に渡り臺北、中、南、及び打狗を十六日間打つたが眞砂石を初め、長州洋、大阪の若木山の三人が死に、柏戶以下三人許り病氣入院者が出來て甚だ閉口した、然し孰れも景氣は上々で鳳、千葉等も元氣よく只

◆大潮だけは　未だヒョロヒョロして居るので今場所は出場すると言つて居るが思ふやうな働きは出來まい、或は又入院するかも知れぬ尙ほ鳳は曰く『臺灣は氣候の變化の激しい所で臺北では綿入れを著て居たが臺中へ行くと袷になり臺南では單衣に打狗では帷子になつた位で一年中の著物を持ち步いた』

京日俳句會

來る四日（土曜日）午後一時より南山本願寺に於いて京日俳句會を開く、參會希望の方は題『若葉』三句持參せられ度し（午五截）

て依然不振を極め居れり蓋し綿花相場は一月以來奔進を重ねたる結果米國に於て價額公定說起りたる[illegible]るより本邦市場に於ても綿系の不振は云はずもがな綿布も急轉直下して七九物三綿最低十圓四十錢て[illegible]十錢迄暴返し商狀餘りに深刻的なりしかば輸出筋は茲に再び屛息するに至れり要するに綿布界は[illegible]

◉造船界の前途　船腹割譲影響

第一回の船鐵交換に依り米國へ提[illegible]餘の十隻八萬七千餘噸は目下建造中のもの若くは近く建造に着手すべきものなるが更に第二回の交換噸約三十四萬噸[illegible]噸にて之れに對し約二十三萬噸の鐵材の供給を受くべきを以て材料[illegible]汽船を有し居たことて昨六年度中に於ける總噸數一千噸以上の船舶建造高七十餘隻三十四萬餘噸[illegible]

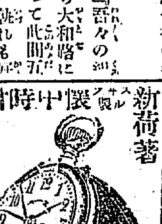
◉お伽講演の夕

[illegible]の龍山浜光氏は去る二十八日の午[illegible]其洞に於ける陸軍慰安觀櫻會に[illegible]

◉京城基督教會（南米倉町）五月二日午後八時より『人類生活の三大生命』[illegible]

⊛流行燈籠⊛
▲特價金拾圓也▲（送料郵稅十二錢外三十錢）
◉純毛にして新流行縞物四種
◉世間ありふれたる內地製品にあらず
純英國製にして「シワノヨラヌ」ボ
右非常の好評殘部僅少と相成候間至急御注文願上候
京城太平通り一丁目　京城日報社代理部
電話三二六、一八番　振替貯金口座三〇番

新荷著　インサル製　懷中時計



懷中時計（▲印はラジュームス入）アンカル機械
ニッケル側十八形　二、五〇　片蓋アンクル
同　三、五〇　同シリン
同　四、五〇　同アンクル
[illegible]
腕卷時計（▲印はラジューム付）ニッケル側十三形　四、五〇　片蓋シリン
[illegible]
金側　百五十圓迄

天下一品　白鶴　增本酒店　仁川本町三丁目　電話一〇九番

イングレッソール商會　本店京城本町二丁目　電話九七二番
舶來時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國賓直輸入商

京日案內
普通五十錢一回前金　番外一回前金（一回毎に特約増し）

普通
▲日鮮人社員二名採用月收三十圓外步合　履歷書要本人來談　電話二七七二　城吉野町一の二七　魁新聞支社　30
▲乘合馬車六人乘　至急讓渡たし御希望の方は京城道抱川郡邑內　菅野商店へ　38
▲專賣特許　紫病根本治療器販賣員拾名募集　京城本町二丁目　浦尾前朝鮮新療法研究所　28
▲外交係至急募集　希望者は履歷書持參面會日通知　京城長谷川町八六　西崎方　29

番外
齋藤孝　不都合の行爲あり解雇す　日本國債償券會社　京城南大門通三丁目卅二　朝鮮總支部　40
▲運送係　有經驗壯健三十歲以下　▲販賣係　▲見習員　數名採用　南大門驛前　協同組　37
店員　十八以上廿五歲迄市內に保證人ある者壹名入用希望者は履歷書携帶來談られ　旭町一丁目　合名會社　京城食糧品市場　53

◉大工賃金値上廣告
物價騰貴に伴ひ組合決議の上五月一日より大工賃金左の通り相定候也
一日賃金　金貳圓也
大正七年五月一日
京城大工組合一同

◉時機は今…即刻御用命希上候

御進物用御印入調製

市內は御報次第見本御持參可仕候
地方は御報次第定價表御送附可仕候
京城本町二丁目
日之出商行本店
電話九百五十六番　振替京城四〇二番

魚釣具及網投卸賣小賣
鳥捕用カスミ網各種あり（御申越次第定價表進呈）
京城永樂町貳丁目　吉備商會
電話三一四番　振替京城四三二八番

◉電話變更廣告
廢止電話　長三五二番　一五六九番　一六三三番
新設電話　長六〇一二番
右の通り五月一日より變更致し候間此段謹告仕候
京城　三越吳服店

醫化學諸器械一式
仁川本町　北島藥店
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番　振替京城[illegible]
藥種賣藥卸商

入院隨意（普通病室並に隔離病室）
內科小兒科
京城旭町一丁目　小林醫院
醫學士　小林千壽
電話六九二番

花吹雪

大阪 中谷青霞

（十八）

さてこそと亭主は腹の裡で頷いたが、眼色にも出さず。

『それまで染々の仰せは下されずとも、左樣何の障りもなく、無事に勤めて居りますれば、何しにお座敷を外處にして、身勝手の我儘をさせて默つて居りませう、此方は商賣、貴所樣方はお客人、申さば私家の搖錢樹、多少の我儘は無理にも強いてお目通り致させるに、何の躊躇はござりませぬ、なれど何分にも此中からの病痾、未だすつくりと癒りませねばかりでなく、生憎兩三日以前からとの家にも居りませず、折角の思召し誠に殘り惜しき儀にござりますれど其邊は何ともはや……。』

と只頭を下ぐるばかり。

『ならば客のまへ出ねばかりでなく、今は此家にもゐぬとお云やるのか。』

と云ひ乍ら兵馬は柳川に眦と眼くばせする。

『はい、兩三日前から、私家には居りませぬ。』

『お默りやれ亭主。』

と柳川は横合からシャ／＼り出で

『江戸吉原が北にあるか南にあるか來たばかりで未だ解せぬ、ポッと出の田舍武士ともあらば知らず身内の奴共が日夜入り込んでこの廓の事は細大洩らさず耳に入る、この香雨ばかりは其手では行かぬぞ、此中の逃引から殊に眼をつけさせてある仲萬字の、唐土が受出されて出たとも駆落たとも未だ聞かぬ、さるを人もあらうに此柳川が目通りで聞きたうもない追從口、お客人ぢやの搖錢樹ぢやのと吹聽いた末が、私家には居りませぬ……出放題も時による、事を分けて段々と男の口から云ふも耻らはしい事まで云ふて、説いて聞かしてゐるゝ心底も掬まず、その利巧な口前、究竟怜いは亭主貴樣ぢや、何の彼のと唐土に入智慧の魂膽、話がくも全くは貴樣の策と思ふが何うぢや、さキリ／＼云へ、返答が鈍らば手は見せぬぞ。』

と果たし眼、亭主は流石に場馴れて少しも動ぜず、一二尺にじり退がつて面を擡げ。

『いや左樣との身に御疑惑とござりますれば、何程申譯けても詮ないこと、如何やうとも御存分に思召すまで、なれど黄金の有難味は人一倍よく存じた色廓の亭主冥利、唐土が居りませぬと申すは微塵詐りない必定でござりまする、それとも僞詐り者とあつて手は見せぬとならば、何事も因縁、嘘でかためた吉原の中にもかやうな亭主もあつたと後の噂をせめてもの引導に、お刀の錆ともなりませう。』

と眦と二人の顏を見上げる。

『然らば唐土は何處へ遣つた、さそ云へ。』

と兵馬も居合腰。

『逐出されても行きませねば又驅け落もしませぬなれば、香雨樣のお耳に入らぬも道理、廓の噂になる程の事ではござりませぬ、唐土は確かに私家の別擺へ、小梅の寮に出養生、この家には居りませぬ。』

死海の生物

◆過日英國ロヤルジオグラフィカルソサエチーの集會に於けるドクトルマスタートン氏の講演に據れば死海(デッドシー)は從來一般に信ぜられて居つた如く全く無生物の所でなく其一部分には確かに生物が棲息する左に掲ぐるは講演一部の摘要である

◆古の學者は死海を以て死の居所とし其沿岸は荒廢して全く生物なく死海上を飛ぶ鳥でさへ往々落ちて死すとの神話を創作したが今日では此考へが全く事實に反することが知れた死海の水の大部分が動植物の繁殖し能はざる程度に鹽分を以て飽充さるゝは事實であるが黒ずみたる小流が流れ込む所の死海の岸近き所には小魚蟹及び蚊の幼蟲(孑孑)が發見された

◆マスタートン氏は斯る所に游泳する魚を自ら目擊し其所の水を壜に一杯取り之を試驗して三三三パーセントの固形物を含有することを確かめた一九一四年歐洲戰爭開戰の少し以前ジェリコ市(死海の北方七哩)の某旅館に宿る旅客十二名は前記の死海の一部分に活潑に游泳する魚を目擊せりとの宣誓書に署名した死海の沿岸には蘆及び多くの樹木が何エイカー(一エイカーは四段二十四歩)も擴がつて繁茂する所がある斯る所には獸類鳥類が澤山に棲息してゐる

日報俳壇

◎京城二葉會詠草◎

湖埋めて家不揃や啼く蛙 春野
廊の灯が動く水田や啼く蛙 銈山
海棠や庭の窪みの潦 山靜
灸の痕痒き宵なり鳴く蛙 帝史
汽車過ぎて里靜さや鳴く蛙 京邇家
雲低う映る水田や啼く蛙 才涯
遠蛙聽きつゝ試驗準備哉 蕊燕

◎龍岩浦蘆の芽會詠草◎

雛の間へ長き廊下を通り梟 楚川
お針子に高々とある雛かな 同
雲低う垂れて淋しや雛の市 綠蒲
病室の兒に飾りたる雛哉 同
子等の顏皆晴れやかや雛の宴 木香
溫突に淋しく照るや雛の灯 周川
灯に生きて醉へるが如き雛哉 球川
雛に閉り部屋鬱さ薫り梟 同
灯點せば雛の影背動きけり 鐵江
雛を埋む桃の落花や夕日影 馬背
雛の燭燃ゑたる後の暗き哉 硯木
蕾固き桃生にけり雛祭 無聲
草の家に光る屏風や雛祭 默鈴
雛の燭小雨に庭に流れけり 柳坡

□春燈吟 ―其の廿二―

春の日

春日傾き山の影山に落ちにけり 田打人
春日ゆたか大卓澁すゝりけり 紫光
春日に額の汗や花壇人 水子
春の日や一鷄鳴いて垣の上 笛木
驛植込み人そゞろ集る春日哉 硯黄子

菜の花

堰止めて干す川底や花菜風 迦南
舟上げて洲畑風ある花菜哉 田打人
菜の花や縁埃らして草の宿 但人
菜の花や石垣なぶる潮迅し 硯黄子

□水原吟行 ―四月二十一日―

車中課題芹五句

驛を離れて綫路は高き芹田哉 迦南
堤澄いて芹田の水に女かな 靑丘
芹摘むや雨雲に畑靑々と 但人
橋杭餘材いつき積める芹靑し 硯黄子

車中所見

水を拔く茅芦の色と其影と 田折夫
汽車に遠く花一木の農家哉 同
隘まりて山嫋りたるつゝじ哉 但人

城內

銀房の小爐に花の風ありぬ 靑丘
花の塵に軋ませ汲む車井戸 迦南

華學殿

囀りや白雲高く松の上 水子
欄干埃ろに倚りぬ花躑躅 田打夫

華虹門

芍藥の芽に蟻道へる遠き哉 硯黄子

訪花隨柳亭

瀑流るゝ水や春の草 靑丘

長安門

櫻下すぐ池濁り水草生ひにけり 田打夫

途上所見

篝火を吹き消す風や夏近し 但人

西湖

菜畑の踏み荒されて櫻かな 紫光
町の水の行く〳〵柳ほぐれ梟 水子

歸途

鵰を擔いで闔丁來る櫻かな 但人
花人の衣袖輕さや驛泥 雜 田打夫

新刊紹介(到着順)

▲中外新論(五月號) 個人の裸體と國家の裸體 題言 支那の病源と其救治策 過激派政府の狂暴と列國の被害 出兵問題と外交の失敗(小松緑)外に小西輪川兩博士佐藤中將、高島平三郎氏その他數十氏の評論、講話及び隨應早稻川兩大學論(早川鐵冶)川見東京市長評(八名家)日支 思の批判 期待(牧野義智)日支教育提携(山田寛大總長外二氏)政界の新人奇才(柳花)十一新博士(白頭伊東巳代治と石田三成(豆如 浮沈博 子孑子)虚全景賞(青柳有美)美文(白秋、時雨)小說(小內山燕、三津木貞子、世事人事、中外雜爼談話(三十錢、東京芝愛宕町二ノ二日中外社)

▲新家庭(五月號) 綺麗で面白く口繪も中代貴婦人の假顏繪と擬彩色二面大にし光澤紙刷四十頁の、貢版し價値を有して居る流行建築等特殊の講話なも收容し讀物も極めて多趣味である(三十五錢、東京芝公園九玄文社)

▲新演藝(五月號) 此雜誌の特色は演繪の原色、石版である中良瀬伯の假顏畫も美事で口繪の舞臺畫及び古畫その他寫眞の三色版二色版コロタイプアート寫眞など例の如く百餘枚に及び記事亦例によつて賑やかである(四十五錢東京芝公園玄文社)

▲新時代(五月號) 時代人觀(杉中主筆)物價調節方法(平沼博士)その他船越前駐獨代理大使、永井柳太郎、蜷川、志田兩博士、河口慧海外百名の士の時事談、學說、評論及び政界秘新物語、經濟記者腐敗の實例、識貢新聞論、現代の五大社會人物並びに時局と人、日本政界と支那政界、日本郵船會社、國際公法學者刀筆界文部省等の人物、女優總捲くり、諸種、評論、閑錄文壇無駄話外數十項(三十錢、東京芝白金今里町共社)

▲珠算速成大全(竹貝登代參著) 此書編纂の目的は珠算の奧義に速達せしむるにありて、圖解多く說明懇切なるを以て學者之に據らば無師獨習にて珠算の奧義に達するを得べし(一圓二十錢東京牛込神樂町一ノ一東雲堂)

▲極東時報(五八) 十八錢東京々橋築地明石町三十一共社

▲學生英語(創刊號) 十二錢東京神田表神保町三進文館發行

皮徽科 皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器病 機能障碍 佐藤醫院 京城明治町二丁目(元曙町) 電話一一七三番 日曜祭日午後二時迄

◎英語を學ばんとする人の福音 最近英語講義錄を發行しつゝある大日本國民英語學會にては今回第二十五回の新學期を開始して會員を募集しつゝあり講義錄の見本及入會案內書は申込次第送呈する由因に大日本國民英語學會は東京麴町九段坂上なり 入院隨意(診察夜九時迄)

原料貸與 職業 遠近男女誰にも出來る輸出パナマ及ゴムの職工を有ス原料貸與 製品永久買受契約す利益熟練一圓十錢迄確實詳細案內書御一報次第進呈す 代理店募集 大阪本町信濃橋東詰振替(口)二〇四 東洋物產合資會社

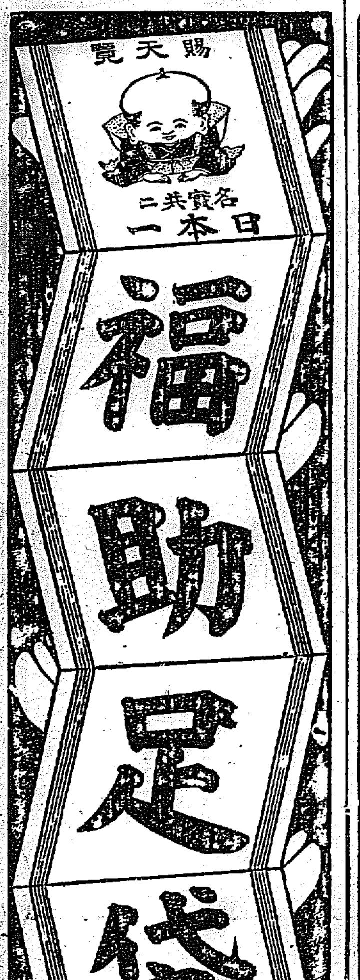
どもり 內務省表彰 吃音矯正 千餘名 無休詳報郵劵送れ ◎本社東京 ◎廣島市中町 廣島支部

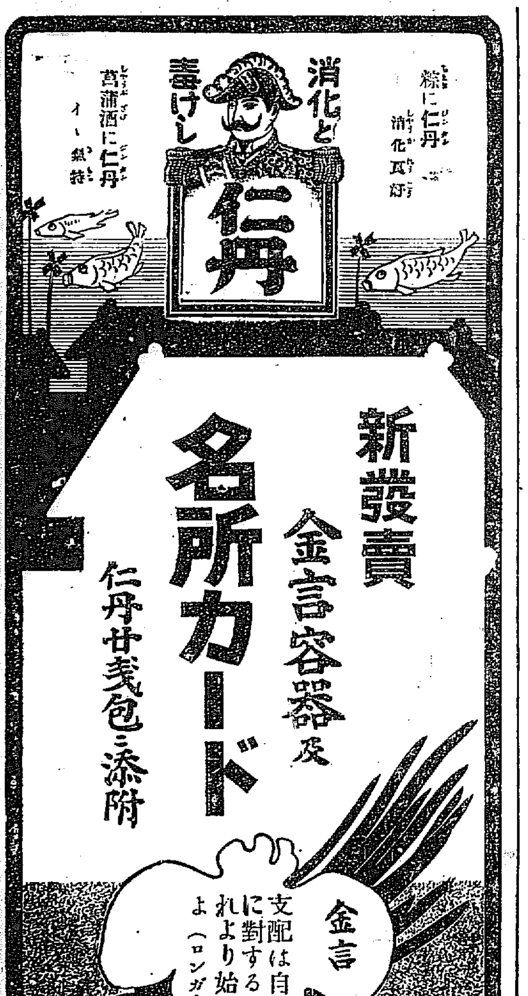
家傳 淋病梅毒咳嗽治療 日本肥前佐世保市上京町三八 杉森醫院 醫士 杉森玄益(十代目)

產婆 倉橋順子 京城櫻井町二丁目二一 本町四丁目交番所横ヨリ入ル 內務省免許 電話二七四二番

質 大塚質店 京城明治町二丁目元曙町 電話一八四九 ◎戰慄すべき火災の防備に完全金庫の設備あり ◎多額の融通 御便宜相計申す 親切町寧に御依頼に應じ候

金剛山繪葉書 高木背水畫伯筆 探勝 (十六枚組) 定價三十六錢 郵稅二錢 萬物相の龍淵、玉流の秋、碧江の朝 九龍淵 溫井里の海金剛 其の優にして逞しきは印刷の良にして決して遜色なき良品なり 京城日報社代理部 京城太平通二丁目 電話(構內十八番) 振替京城三〇〇番





於東京化學工業博覽會
金牌 受領
最上醬油
釀造元
日本醬油株式會社

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
司法大臣松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士 加古貞太郎先生序文
朝鮮總督府附政務官 小笠原寬先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂
大正七年一月一日現在 正誤表附 總クロース金文字入 菊版千百五十頁定價金三圓 郵稅十八錢
本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調查局の調查により確定したる朝鮮全道の行政區域の沿革を對照し錯綜混雜せる道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し一目瞭然にしてあり末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、清、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口、戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物名稱、舊跡、溫泉其他の概況を掲げ
本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くべからざるの必携書なり
□發賣元 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

賛化病院 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限り 醫學博士 古城憲治 京城明治町一丁目 電話二四番

金泉開自動車著發時刻 居自動車部金泉支部 電話四八番 [illegible]

釜山出帆廣告
汽船 門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 月 日後五時出 立神丸 月 日後五時出
元山、清津、浦潮行 和歌浦丸 月 日後四時出 立神丸 月 日後四時出
佐須奈、厳原、壹岐、博多行 大東丸 每月二日九日十六日廿三日(十四)午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 四月 日後六時出
門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 四月 日後六時出
本船取扱店 釜山港埋立新町 大池回漕部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
◎神戶、大阪行 △油頭丸 五月四日 後五時出 △日清丸 五月九日 後五時出 △日吉丸 五月卅一日 後五時出
◎群山、神戶、大阪行 △南部丸 月 日 後五時出
元山出帆
◎西湖津、新浦、城津、清津行 宮島丸 五月五日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 五月廿四日 後九時出
大連出帆
◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 五月十一日 前六時出 須磨丸 五月廿八日 前六時出
內地各港出帆主要航路 南米行 一年四回 濠洲行 每月一回 北米行 每月二回 孟買行 每月二回 南洋行 每月一回
御注意 大阪商船株式會社仁川支店 電話二番 京城切符發賣所 仁川京城通リ切符發賣所 電話二六一番

日本郵船仁川出帆
◎大連行 天津行 相模丸 五月二十日 正午出 三河丸 五月十日 高砂丸 月 日
仁川海岸町十二丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 秀吉丸 五月九日 後四時出 君代丸 五月十七日 後四時出 大有丸 五月廿四日 後四時出
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
大連行 第十六共同丸 五月九日 午後入港 五月十日 午前出
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三) 元山代理店 春日町(電話二四四七番) 田口回漕部 京城代理店 南大門通(電話二七六八三) 河村運送店

朝鮮郵船出帆
◎敦賀行 平壤丸 五月六日 清津發 元山經由 五月九日 元山發
◎浦汐行 平安丸 五月十四日 釜山發 五月十六日 元山發
◎雄基行 ×京畿丸 五月五日 釜山發 五月八日 元山發 忠清丸 五月八日 釜山發 五月十四日 元山發
◎元山雄基線 鏡城丸 五月六日 元山發
◎大阪行 平安丸 五月三日 元山發 五月五日 釜山發
◎關門行 ×鹿耶山丸 五月六日 元山發 五月九日 釜山發 咸鏡丸 五月十二日 元山發 五月十六日 釜山發
◎金剛山遊覽便 丸 月 日 元山發
◎鬱陵島行 召德丸 五月八日 釜山發
◎釜山浦項線
◎濟州島行 江陵丸、襄陽丸 每日釜山、浦港發 昌平丸 五月五日 釜山發
◎濟州島行 木浦發 東廻 慶興丸 五月六日 西廻 公州丸 五月三日 木浦發
◎釜山麗水線 釜山丸、巨濟丸、統營丸 每日
◎木浦麗水線 順天丸 五月五日 木浦發
◎多島海行 公州丸 五月十四日 木浦發
◎木浦行 慶雲丸 五月四日 仁川發
◎海州行 鎭江丸 南陽丸 每日一回仁川海州發
◎鎭南浦行 全州丸 五月八日 仁川發
◎青島行 江原丸 五月八日 仁川發
◎鎭南浦大連直行線 宗信丸 五月 日 鎭南浦發
本社 京城南大門通(電話一九五二二、三二二) 釜山港佐藤町 釜山支店 元山港埠岸通 元山出張所 仁川港代理店 堀回漕部 木浦港代理店 小野回漕部 京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 電話二一七〇

下期米 一日後場(期米は氣配薄弱味相收押目買弱きも卸先戻賣り)
仁川米 一日前場
大阪米 一八六・二〇
▲一日後場 大阪前止め二十六圓七十錢後寄未著にて京限二十二圓十錢より〆八錢中廿二錢より廿錢先四十五錢と八錢四錢
△中限一節二十二錢二十錢平均二十一錢二節十九錢八錢七錢平均値十八錢三節十四錢六錢五錢平均
一日の七月限
仁川米豆取引所 平均値段 一節 二節 三節 四節